

令和 2 年度

事業報告・決算書

自 令和 2 年(2020年) 4 月 1 日

至 令和 3 年(2021年) 3 月 3 1 日

社会福祉法人 越谷市社会福祉協議会

目 次

	ページ
【はじめに】	1
【重点施策】	1～ 4
【事業報告】	
I 社会福祉事業	
1 法人経営	7～ 11
2 地域福祉総合推進事業	12～ 31
3 共同募金配分事業	32～ 37
4 生活支援総合推進事業	38～ 42
5 愛の詩基金事業	43～ 47
6 在宅福祉総合推進事業	48～ 49
7 介護事業	50～ 55
8 老人福祉センター事業	56～ 65
9 障がい者支援事業	66～ 82
II 公益事業	
1 公益事業	83～ 102
III 収益事業	
1 収益事業	103

【決算報告】

ページ

I 計算書類

1 全体会計	107～122
社会福祉事業区分	123～162
公益事業区分	163～183
収益事業区分	185～198

II 財産目録

199～202

III 附属明細書

203～274

IV 監査報告書

275

〈はじめに〉

本協議会は、地域福祉を推進する中核的な組織として、「第2次越谷市地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなが参画し ともに築く 福祉のまちをめざして」の実現に向けて、市民・地域・団体・行政等との連携をすすめ、福祉課題、生活課題に向き合い、各種事業に取り組んでまいりました。

令和2年度(2020年度)は、市が策定する「第3次越谷市地域福祉計画」と計画期間を合わせ、令和3年度(2021年度)から5か年を期間とする「第3次越谷市地域福祉活動計画」を策定しました。この2つの計画は、「地域福祉の推進」という同一の目的で策定する計画であることから、計画策定においては、地域福祉の課題認識や計画の基本目標を共有して、両計画が相互に補完しながら、地域福祉を推進していくことを目指し策定しました。

また、地域福祉を推進する重点事業として、地域住民による支えあい活動を広げるための体制整備事業や、認知症や障がい等により判断能力が十分でない方々に対する支援としての権利擁護事業に取り組んだほか、コロナ禍での生活資金にお困りの方々へ、緊急小口・総合支援資金(新型コロナウイルス感染症特例貸付)の相談や申し込みの受付を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、本協議会が展開する様々な地域福祉活動等では、実施方法の変更や活動自粛を余儀なくされ、また、老人福祉センター及び市民プール等の施設を一時臨時休館するなどのほか、主催するイベントや会議・研修等の多くは対面での実施が困難となり、延期や中止、オンライン等に切り替え実施しました。

〈重点施策〉

1 地域における支え合い、助け合い活動の推進

身近な地域での支え合い、助け合い活動を推進するため、住民相互の協力により行われているふれあいサロン活動等の運営支援や立ち上げ相談に努め、活動の中心となる福祉推進員の養成や研修を実施し、活動の充実・定着に努めました。

ふれあいサロン活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせるサロンも多くありましたが、衛生用品購入費用として臨時助成を行うなど、活動継続に向けた支援を行いました。

また、住民相互の助け合いにより、日常生活に支障のある世帯等に家事支援を行う「ほほえみサービス事業」では、地域包括ケアシステムにおける介護予防・生活支援サービス事業訪問型サービスBの実施団体としても引き続き登録し、事業の充実に努めてまいりました。

2 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの実現に向け、きめ細かな支援体制を整えるため、地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)を配置し、住民同士が主体的に活動できる体制の整備に努めました。

また、地区圏域(第2層)を単位とする地域支え合い会議については、先行してスタートした越ヶ谷、川柳、桜井、新方、荻島の5地区に、大袋、増林、大沢の3地区を加え、地域の多様な団体等と連携し、福祉課題やニーズへの対応について検討しました。地区によっては、支え合い活動の立上げや企業との連携による移動販売車の運行など、具体的な取り組みが進みました。

なお、地域包括支援センターでは、地域の高齢者支援を包括的・継続的に行うため、介護予防ケアマネジメント業務や高齢者の実態把握、虐待への対応を含む総合相談に応じて、高齢者及びその家族の福祉の向上に努めました。

3 子育て支援サービスの拡充

子育て家庭を地域全体で支え、子育てにやさしい環境づくりを推進するため、孤立しがちな親や子育てに悩む親等が気軽に参加して交流や相談ができる子育てサロン事業を開催しました。

また、住民相互の助け合いによるファミリー・サポート・センター事業等を推進し、地域における子育て支援の環境づくりに努めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てサロンは一時臨時休館しましたが、休館中も電話での相談等に応じたほか、ファミリー・サポート・センター事業では、感染防止対策等を講じながら支援の継続に努めました。

4 ボランティア活動の推進

市民のボランティア活動への理解と参加の促進を図るため、ボランティア入門講座等の開催や社協ホームページ、ボランティア情報ピュア等を活用した情報発信に努めました。

また、福祉教育では、子どもの時から「ともに生きる力」を育むため、教育委員会、小・中学校等と連携し、福祉体験学習を実施する等福祉教育の取り組みを支援しました。

5 権利擁護事業の充実

認知症や知的障がい・精神障がい等で判断能力が十分でない方々が、地域で安心して生活が送れるよう、成年後見センター事業や福祉サービス利用援助事業等に取り組みました。

また、成年後見センターで実施している法人後見事業では、市民後見人と共同で後見人等を受任することで、市民後見人が安心して後見活動ができるよう支援を行いました。さらに、親族を頼れない等により将来に不安を抱える一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯等に対して、見守りや生活支援、急な入院時の支援や死後の事務手続き等の援助を行う「みまもり・あんしん事業」に取り組みました。

6 介護サービス事業の充実と健全経営

質の高いサービスを効率的・効果的に提供していくため、計画的な職員研修や個別のケース検討を実施するとともに、ホームヘルプサービス事業では、介護保険事業と障がい者支援事業を一体的に推進しました。

また、制度改正に適切に対応しながら、安定的かつ継続的にサービスの提供ができるよう、人材の確保に努めるとともに、事業の効率化を進め、健全な経営に取り組みました。

なお、コロナ禍での介護サービスの提供が途切れないよう、感染防止対策を講じながら支援の継続に努めました。

7 地域福祉活動推進のための財政基盤の強化

地域福祉活動を継続的に推進するための財政基盤強化のため、当協議会の事業を社協だよりや社協ホームページ、チラシ等で積極的にPRするとともに、自治会等の関係団体にご協力をいただき、社協会員会費や愛の詩基金等の拡大に努めました。

事業報告

I 社会福祉事業

1 法人経営

(1) 法人経営

① 理事会の開催

ア 第1回

- 期 日 令和2年(2020年)8月7日(金)
- 会 場 中央市民会館4階会議室
- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会副会長の選定について(同意)
- 第2号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会理事候補者について(同意)
- 第3号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会評議員候補者について(同意)
- 第4号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について(同意)
- 第5号議案 令和元年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業報告について(同意)
- 第6号議案 令和元年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会決算について(同意)
- 第7号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会第1回評議員会について(同意)

○出席者 10人

イ 第2回

- 期 日 令和2年(2020年)12月23日(水)
- 会 場 中央市民会館5階会議室
- 出席者 10人

※ 定款第21条第5項の規定に基づく会長及び常務理事の職務執行状況についての報告と専決処分(給与規程の一部改正)についての報告を行う。

ウ 第3回

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

- 期 日 令和3年(2021年)3月19日(金)
- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会定款の変更について(同意)
- 第2号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会越谷市指定障害福祉サービス事業所「しらこぼと」(定着支援)運営規程の制定について(同意)
- 第3号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について(同意)

- 第4号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について（同意）
- 第5号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会給与規程の一部改正について（同意）
- 第6号議案 役員等賠償責任保険の契約について（同意）
- 第7号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業計画について（同意）
- 第8号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会予算について（同意）
- 第9号議案 令和2年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会第2回評議員会について（同意）

○出席者 15人

※ 第3次越谷市地域福祉活動計画の策定について報告を行う。

② 評議員会の開催

ア 第1回

○期 日 令和2年(2020年)8月26日(水)

○会 場 中央市民会館4階会議室

- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会理事の選任について（承認）
- 第2号議案 令和元年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業報告について（承認）
- 第3号議案 令和元年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会決算について（承認）

○出席者 29人

イ 第2回

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和3年(2021年)3月29日(月)

- 内 容 第1号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会定款の変更について（承認）
- 第2号議案 社会福祉法人越谷市社会福祉協議会越谷市指定障害福祉サービス事業所「しらこぼと」（定着支援）運営規程の制定について（承認）
- 第3号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会事業計画について（承認）
- 第4号議案 令和3年度社会福祉法人越谷市社会福祉協議会予算について（承認）

○出席者 33人

※ 第3次越谷市地域福祉活動計画の策定について報告を行う。

③ 監事会の開催

ア 第1回

○期 日 令和2年(2020年)年7月21日(火)

- 会 場 中央市民会館 5 階会議室
- 内 容 令和元年度事業報告及び社会福祉事業区分、公益事業区分、収益事業区分決算に係る監査執行

④ 正副会長会

ア 第 1 回

- 期 日 令和 2 年(2020年) 7 月 3 1 日 (金)
- 会 場 中央市民会館 4 階会議室
- 内 容 理事会・評議員会に提案すべき議案について

イ 第 2 回

- 期 日 令和 2 年(2020年) 1 2 月 1 5 日 (火)
- 会 場 中央市民会館 4 階会議室
- 内 容 理事会に報告すべき事項について

ウ 第 3 回

- 期 日 令和 3 年(2021年) 3 月 1 2 日 (金)
- 会 場 中央市民会館 5 階会議室
- 内 容 理事会・評議員会に提案すべき議案について

⑤ 評議員選任・解任委員会

ア 第 1 回

- 期 日 令和 2 年(2020年) 8 月 2 0 日 (木)
- 会 場 中央市民会館 4 階会議室
- 内 容 評議員の選任について
- 出席者 3 人

(2) 指定管理

老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘、障害者福祉センターこぼと館、障害者就労訓練施設しらこぼと、市民プール（老人福祉センター 4 館及び市民プールについては、令和元年度からシンコースポーツ株式会社との共同事業体を構成）について、「指定管理者」として、継続的な業務改善活動を推進し、安全・安心をモットーに利用者満足度の向上に努めました。

なお、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、老人福祉センター 4 館、市民プール（トレーニングルーム含む）については、臨時休館となった期間があったほか、障害者福祉センターこぼと館、障害者就労訓練施設しらこぼとについては、貸館が休止となった期間がありました。

また、主催事業の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止や内容の変更等を余儀なくされました。

○管理運営委員会

継続的な業務改善活動の進行管理を行うため、管理運営委員会を開催し、利用される方々から寄せられたご提案内容の検討、設備・備品の充実等を図り、安全で安

心してご利用いただける施設運営を目指すための取り組みを積極的に実施しました。
 (指定管理施設へのご提案件数) (単位: 件)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	設備関係	利用方法	職員対応	その他
1 けやき荘	3(0)	3(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
2 くすのき荘	0(0)	5(1)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
3 ゆりのき荘	0(0)	3(3)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
4 ひのき荘	6(3)	1(1)	2(0)	3(3)	1(1)	2(2)	0(0)	0(0)
5 市民プール	2(1)	2(1)	2(2)	9(9)	0(0)	4(4)	0(0)	5(5)
6 こばと館	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7 しらこばと	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合 計	11(4)	14(7)	6(3)	13(13)	1(1)	6(6)	0(0)	6(6)

※ () は、ご提案のうち回答した件数

(3) その他

① 個人情報の保護

個人情報に関する方針（プライバシーポリシー）及び個人情報保護規程に基づき、職員だけでなく、事業に関わるボランティア活動者等に対し、保有する個人情報の適正な取り扱いを徹底するとともに、実施する福祉サービスを利用する方々の権利利益を保護し、事業運営に努めました。

② 情報公開

法人経営の透明性を確保し、事業に関わる個人情報がみだりに公にされることのないよう適切な管理を行い、非公開情報が記録されている場合を除き、公開申出者に対し、当該文書等を公開する体制の充実に努めました。

③ 苦情への対応・解決

事業を利用する方々や地域の方等から寄せられた苦情やご意見に適切に対応することにより、事業内容や職員対応等について迅速に改善を図り、本会に対する信頼の向上に努めました。

④ 職員研修の実施

職員研修計画に基づき、職場研修としてOJTや新任研修等を実施するとともに、職場外研修として専門研修・特別研修等に積極的に参加し、職員の資質を高め、より良いサービスの提供に努めました。

⑤ 実習生等の受け入れ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、全ての実習生の受け入れを中止しました。

⑥ 事業の共催及び後援

本会が広く社会福祉の増進に寄与するため、各種団体が行う事業に対し、共催

及び後援をしました。

ア 共催内容

- ・令和2年度福祉の仕事地域就職相談会（越谷会場）

イ 後援内容

- ・第13回協働フェスタ（協働フェスタ実行委員会） ほか8件

〈共催・後援件数〉

（単位：件）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 （%）
共催件数	6	5	4	5	1	20.0
後援件数	21	21	14	12	9	75.0

2 地域福祉総合推進事業

(1) 越谷市地域福祉活動計画

地域に根ざした「福祉のまちづくり」に取り組むため、越谷市が策定する第2次越谷市地域福祉計画との整合性を図り、平成25年度(2013年度)から平成29年度(2017年度)までの5か年を計画の期間(越谷市の「第2次越谷市地域福祉計画」と同様に令和2年度(2020年度)まで計画期間を延長)とした「第2次越谷市地域福祉活動計画」を策定し、この計画に基づき、各種事業の実施に取り組みました。

また、令和2年度は、第3次越谷市地域福祉活動計画の策定年度となり、計画の策定にあたっては、本計画が、越谷市が策定する越谷市地域福祉計画と相互に補完する位置づけとなっていることから、地域福祉計画と課題や理念を共有しながら、策定の工程を合わせるなど、市と密接に連携しながら一体的に計画の策定を進めてまいりました。

○越谷市地域福祉活動計画推進委員会

第2次越谷市地域福祉活動計画の進行管理と第3次越谷市地域福祉活動計画の策定に係る必要な事項の協議を行うことを目的に、越谷市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

ア 第1回

- 期 日 令和2年(2020年)10月19日(月)
- 会 場 中央市民会館5階 会議室
- 内 容 令和元年度における第2次越谷市地域福祉活動計画の進捗状況について
第3次越谷市地域福祉活動計画の概要について
・概略スケジュール 【資料1-1】
・計画書構成案 【資料1-2】
第3次越谷市地域福祉活動計画の素案について 【資料2】
- 出席者 9人

イ 第2回

- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議
- 期 日 令和3年(2021年)2月22日(月)
- 内 容 第3次越谷市地域福祉活動計画の素案について 【資料1】
- 出席者 12人

(2) 協議会会員の募集

○会員募集

会員制度は、「社協」の原則である住民主体に基づき、住民の自主的な参加による地域福祉活動推進の貴重な財源となる、重要な制度です。

募集の方法としては、社協だより等による広報啓発活動の他、自治会を通じて

広く住民に協力を呼びかけるとともに、市内の関係福祉団体、事業所等に会員加入の依頼をしました。

さらに、法人会員の加入促進のため、越谷商工会議所や越谷法人会等と連携し、会報への記事掲載等のほか、232の事業所にダイレクトメールを郵送して、会員加入に向けた積極的な推進を図りました。なお、協力依頼の際には、本協議会が税額控除対象法人であることを周知し、個人の賛助・特別会員、事業所等への法人会員の加入をお願いしています。

今後は、さらに広報啓発を充実するなかで、地域福祉を担う「社協」の活動趣旨に賛同いただくよう、加入率の増加に努めます。

ア 会員の種類

- 一般会員 1口 200円
自治会を通して、市内の各世帯に協力を依頼しました。
- 賛助会員 1口 1,000円
主に賛同する個人等に協力を依頼しました。
- 特別会員 1口 5,000円
主に篤志家、各種団体、社会福祉施設等に協力を依頼しました。
- 法人会員 1口 10,000円
主に会社、事業所、社会福祉法人等に協力を依頼しました。

イ 募集方法

- 5月1日 社協だより（第229号）で会員募集
- 6月下旬 市内自治会を通じて、全世帯に協力依頼
自治会扱いの会費納入事務について越谷市農協本支店に協力依頼
- 7月1日 増強運動期間（7月31日まで）
- 7月上旬 各地区民生委員・児童委員協議会で賛助会員・特別会員協力依頼
越谷市職員に賛助会員・特別会員の依頼
- 下旬 市内の関係団体に賛助会員・特別会員の依頼
- 9月上旬 会社、事業所等にダイレクトメールで法人会員の依頼
- 3月1日 社協だより（第234号）で令和2年度の社協会員会費の実績を報告し、賛助・特別・法人会員については、芳名を報告しました。

ウ 実績（次の表のとおり）

〈令和2年度 会員会費の実績〉

（単位：円）

区分	目安額	一般会費	賛助会費	特別会費	法人会費	合計	達成率(%)
桜井	2,207,600	1,186,800	0	0	0	1,186,800	53.8%
新方	950,200	889,160	0	0	0	889,160	93.6%
増林	1,184,400	706,190	0	0	0	706,190	59.6%
大袋	2,944,600	1,821,278	0	5,000	0	1,826,278	62.0%
荻島	619,200	618,400	0	0	0	618,400	99.9%
出羽	1,759,200	1,778,450	6,000	20,000	0	1,804,450	102.6%
蒲生	2,491,400	1,372,100	16,000	20,000	0	1,408,100	56.5%
南越谷	1,641,000	944,364	17,000	40,000	0	1,001,364	61.0%
大相模	1,232,200	734,694	17,000	0	0	751,694	61.0%

越ヶ谷	1,007,200	871,700	5,000	15,000	0	891,700	88.5%
大沢	1,352,200	1,036,050	0	0	0	1,036,050	76.6%
北越谷	696,600	243,000	0	0	0	243,000	34.9%
川柳	484,200	408,000	0	0	0	408,000	84.3%
小計	18,570,000	12,610,186	61,000	100,000	0	12,771,186	68.8%
社協扱		0	1,102,000	240,000	1,290,000	2,632,000	—
総計	18,570,000	12,610,186	1,163,000	340,000	1,290,000	15,403,186	82.9%

〈会員会費実績の推移〉

(単位：円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比
桜井	1,418,480	1,360,200	1,322,800	1,274,850	1,186,800	93.1%
新方	943,400	921,640	912,680	905,590	889,160	98.2%
増林	733,160	751,400	722,030	720,300	706,190	98.0%
大袋	1,656,079	1,785,608	1,726,591	1,844,948	1,826,278	99.0%
荻島	625,600	621,400	620,600	624,210	618,400	99.1%
出羽	1,785,950	1,795,300	1,793,600	1,804,950	1,804,450	99.9%
蒲生	1,399,400	1,445,287	1,407,600	1,359,600	1,408,100	103.6%
南越谷	978,864	1,017,712	1,013,792	1,004,262	1,001,364	99.7%
大相模	713,770	771,430	762,390	792,720	751,694	94.8%
越ヶ谷	939,900	939,100	931,700	929,500	891,700	95.9%
大沢	1,024,740	1,022,880	959,300	944,500	1,036,050	109.7%
北越谷	255,000	255,000	255,000	225,000	243,000	108.0%
川柳	396,000	395,000	393,600	407,600	408,000	100.1%
小計	12,870,343	13,081,957	12,821,683	12,838,030	12,771,186	99.5%
社協扱	2,927,000	2,914,000	2,901,000	2,761,000	2,632,000	95.3%
総計	15,797,343	15,995,957	15,722,683	15,599,030	15,403,186	98.7%

(3) 地域福祉事業

① 社協支部との連携

○支部長会議

ア 第1回

○期日 令和2年(2020年)4月7日(火)

○内容 令和2年度社会福祉協議会会員会費募集並びに共同募金運動について
社会福祉協議会会員会費募集の取り組みについて
令和元年度支部運営補助金・支部福祉事業補助金の報告について
令和2年度支部運営補助金・支部福祉事業補助金の申請及び請求について

イ 第2回

○期 日 令和2年(2020年)8月21日(金)

○内 容 令和2年度赤い羽根共同募金の取り組みについて
令和2年度歳末たすけあい募金の取り組みについて

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会議の開催を中止としました。

また、資料については、各支部長へ持参し、説明を行いました。

② 社協支部への支援

「みんなが参画し ともに築く 福祉のまちをめざして」をすすめるため、地域福祉・在宅福祉事業が地域の実状に合った総合的、体系的な福祉活動として展開されるよう、住民が主体となって取り組むための支援として13支部に運営費を交付しました。

また、関係各機関との調整や事業についての相談等、小地域ごとの推進体制づくりをすすめました。

・支部運営費…1,243,071円

③ ふれあいサロン

ひとり暮らしや、家に閉じこもりがちで寂しさや不安を抱える高齢者等が、地域の中でいきいきと暮らしていけるよう、地域住民が支えあい、安心して生活できる地域社会づくりを担うふれあいサロンの登録総数が114か所となりました。

ふれあいサロン活動については、コロナ禍で開催を見合わせるサロンも多くなりましたが、アルコール消毒液や体温計等の衛生用品購入費用として1か所につき1万円、合計115万円を臨時助成として交付し、活動継続に向けた支援を行いました。

また、ふれあいサロンの立ち上げにあたっては、相談、助言し、福祉推進員養成研修において、ふれあいサロンの事業説明や立ち上げについての説明を行い、新規サロン登録への働きかけを行いました。

様々な支援の実施に際しては、地域に根差した活動が行えるよう、市内13地区を基本に4つのブロックに分けた職員担当制により活動を展開しています。

〈開催状況の推移〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
会場数(か所)	95	102	111	119	114	95.8
延回数(回)	1,156	1,336	1,598	1,760	559	31.8
参加者(人) (福祉推進員を含む)	25,651	30,943	37,776	38,684	8,781	22.7

〈令和2年度サロン種別〉

(単位：箇所)

高齢者	子育て支援	多世代交流	介護者
86	8	19	1

〈サロン登録状況・地区別開催か所数〉

桜井	新方	増林	大袋	荻島	出羽	蒲生
10	8	6	16	7	8	9
南越谷	大相模	越ヶ谷	大沢	北越谷	川柳	広域
10	13	12	6	5	3	1

ア ふれあいサロン代表者会議

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止としました。

④ 福祉推進員

小地域福祉活動の推進を図るため、市民参加型の小地域活動を活発化し、地域のニーズにきめ細かく対応できる活動やサービスを構築することを目的に、新たに福祉推進員を17人委嘱し、活動に結び付けました。

福祉推進員の活動をサポートするため、市内13地区を基本に4つのブロックに分けた職員担当制により、支援を展開しています。

・福祉推進員数…638人（令和3年(2021年)3月31日現在）

ア 福祉推進員の養成

○福祉推進員養成研修

回	開催日	会場	内容	講師	委嘱者数(人)
1	6月29日(月) ※	中央市民会館 会議室	【事前説明会】 「社会福祉協議会、福祉推進員、ふれあいサロン」についての説明	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 保科寧子 氏	—
2	11月10日(火)		【養成研修】 「福祉推進員研修」		17

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ 福祉推進員の育成

○福祉推進員研修会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となり、成年後見センターで実施した「令和2年度成年後見制度講演会」の動画視聴を案内しました。

配信期間	内容	視聴方法	講師
2月8日(月)～ 2月21日(日)	令和2年度成年後見制度講演会 “漫才で学ぶ成年後見制度”	スマートフォン、パソコン、タブレットからQRコードの読み取り、越谷市社会福祉協議会ホームページからアクセス	青空 一風 青空 千風

⑤ 地域福祉出前講座

社協事業のPRと理解促進のため、職員が出前講座を行いました。

〈実施内容別件数〉

(単位：件)

区分	社協事業	ふれあいサロン	成年後見センター	災害・防災	その他	計
自治会	1	0	0	0	1	2
民協	3	0	0	0	0	3
福祉施設	2	0	1	0	1	4
その他	3	0	2	0	0	5
合計	9	0	3	0	2	14

⑥ 地域包括支援ネットワーク会議への参加

各地区の地域包括支援センターが主催する、高齢者等が安心して地域で暮らすことができるよう見守りや助け合いを目的とした「越谷市地域包括支援ネットワーク」の取り組みの中で、地域における連携維持や情報共有、課題検討のため、地域包括支援ネットワーク会議に参加しました。

自治会、民生委員・児童委員、福祉推進員等の地域の皆さんや協力機関・団体等の方々が参加し、「認知症」「社会資源」「見守り」などについて話し合いが行われました。

⑦ マスコットキャラクターの活用

マスコットキャラクター「ハートん」を活用し、幅広い世代の方々に身近で親しみやすく興味、関心が得られるよう広報活動を行いました。

また、着ぐるみを活用し、市民まつりやボランティアフェスティバル等の各事業・イベントでPRしたほか、関係団体に着ぐるみの貸出しを行いました。

〈活用件数〉

(単位：件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
イラスト使用申請(内部)	27	25	12	13	108.3
イラスト使用申請(外部)	0	2	0	0	—
グッズ作製申請	0	0	0	0	—
着ぐるみ活用(内部)	4	4	3	0	—
着ぐるみ活用(外部)	4	2	1	0	—

⑧ 備品貸出事業

市内の団体・施設・自治会等のイベント事業に遊具・着ぐるみ等の貸し出しを行うことにより、社協を知っていただき、財源となる会員会費・共同募金のPRにもつながりました。(公式輪投げ、ミュージックベルなどの遊具21種類、着ぐるみ6体)

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、

4月中旬から、貸出しを中止しました。

〈貸出実績推移〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
遊 具 各 種	187	230	213	168	2	1.2
着 ぐ る み	13	22	16	13	0	—

⑨ 結婚支援事業

令和2年度は、9月と3月にイベントを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止としました。

(4) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢になっても住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、地域ぐるみの支え合いの体制づくりを構築することを目的として、職員4人（市内13地区を4ブロックに分ける）を地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）として配置し、地域支え合い会議（協議体）で関係者間の情報共有等を図りました。

また、「生活支援サービスの把握、開発及び支援」と「関係者のネットワーク化」を目標に、地域における通いの場等をはじめとした社会資源の把握のほか、関係機関・団体に対する事業内容の周知等に努めました。

① 生活支援サービスの把握、開発及び支援

生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していく中で、住民主体のサービスの基盤を構築するため、地域における住民主体の通いの場や地域の団体が活動を行う場所として活用可能な地域交流スペース等の情報の把握に努めました。

〈実施状況（生活支援コーディネーターが関わった延べ件数）〉

資源調査	通いの場	263 件
	有効スペース	35 件
	支え合い活動	44 件
資源リストの作成・周知		15 件
活動の立上げ支援		50 件
立上げマニュアルの周知		0 件
自立支援型ケース検討会議の出席		6 件
その他		17 件

② 関係者のネットワーク化

市全域レベル（第1層）の地域支え合い会議への出席のほか、各地区で地域レベル（第2層）の展開を進めました。各地区に地域支え合い推進員を配置し、地域支え合い会議の設置に向けた勉強会等を通して関係者のネットワーク化を行いました。

〈実施状況（生活支援コーディネーターが関わった延べ件数）〉

第2層	会議の設置・支援	43件
	コーディネーターの調整・支援	48件
関係機関・団体の情報共有		218件
サービス提供主体間の体制づくり		44件
その他		98件

ア 市全域レベルの地域支え合い会議（市主催）への出席

開催日	会場	内容
12/21	中央市民会館	第2層（各地区）の取組状況の報告

イ 地域レベルの地域支え合い会議の開催

越ヶ谷地区（2018年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数
第7回	7/13	中央市民会館	・イベントの振り返り ・居場所づくりの拠点について	14人
第8回	9/14	〃	・ラジオ体操の情報収集 ・居場所の立ち上げについて	16人
第9回	11/16	〃	・自治会館の利用について ・有効スペースの利用について	16人
第10回	3/22	〃	・赤山町一丁目自治会館での居場所づくり の取組について	10人

川柳地区（2018年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数
第8回	7/30	ひのき荘	・出張ふれあいサロンについて	9人
第9回	3/25	〃	・コスモ薬局さんの講義（新型コロナウイルスについて、フレイルについて） ・出張ふれあいサロンについて	10人

桜井地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数
第3回	7/15	桜井地区センター	・支え合い活動の立ち上げについて	10人
第4回	10/19	〃	・支え合い活動の立ち上げについて（チラシの確認など）	15人

新方地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数
第1回	9/17	新方地区センター	・買い物環境アンケートについて（項目、実施方法等）	9人
第2回	12/17	〃	・買い物アンケートの実施について	8人

荻島地区（2019年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数
第2回	7/28	荻島地区センター	コロナ禍のできる取組 ・移動販売の展開について ・買い物環境アンケートの実施について ・個人商店のPRについて	10人
第3回	10/27	〃	・買い物環境アンケート進捗状況報告 ・買い物支援の取組について（イオンから3名出席）	18人

大袋（千間台記念会館会場）地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数
勉強会 1回目	8/27	北部市民会館	・事業概要説明 ・モデル地区の取組と今後のスケジュールについて	36人
勉強会 2回目	11/24	千間台記念会館	・大袋地区の概況について ・課題把握・目標設定に向けたワーク	24人

大袋（北部市民会館会場）地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数
勉強会 1回目	8/27	北部市民会館	・事業概要説明 ・モデル地区の取組と今後のスケジュールについて	30人
勉強会 2回目	11/19	〃	・大袋地区の概況について ・課題把握・目標設定に向けたワーク	22人

増林地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会 場	主な内容	参加者数
勉強会 1回目	8/24	増林地区センター	・事業概要説明 ・モデル地区の取組と今後のスケジュール	25人

			について	
勉強会 2回目	10/22	〃	・増林地区の概況について ・課題把握・目標設定に向けたワーク	34人

大沢地区（2020年度～）

開催数 (通算)	開催日	会場	主な内容	参加者数
説明会 1回目	8/11	大沢地区センター	・生活支援体制整備事業について	10人
説明会 2回目	10/7	〃	・団体間での情報共有	11人
第1回	11/12	〃	・目標設定について ・アンケートの作成、配布について	13人

③ 担い手養成研修の実施

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、支援が必要な高齢者や地域福祉へ理解と関心を深め、生活支援サービス（家事支援や見守り等）の担い手となる人材の養成研修を2日間の日程で開催しました。

ア 実施状況

	日程	修了者数
第1回	10/20、10/26	15人
第2回	1/14、1/19	※
合計		15人

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ 開催実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
開催回数 (回)	5	4	4	1	25.0
修了者数 (人)	307	72	75	15	20.0

(5) 子育てサロン事業（市受託事業）

子育てに不安や負担を感じている親への支援を目的に、悩みや不安の相談や子育て情報の共有ができる交流の場を提供しました。親同士の交流を図るとともに、年齢別や転入者など、テーマ別に集う子育てひろばの開催、利用者の拡大に向けた取組を進めました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)2月28日(金)から6月15日(月)までの期間と12月26日(土)から令和3年(2021年)3月22日(月)までの期間、子育てサロンヴァリエは臨時休業となり、水辺のまちづくり館で開催している子育てひろば・赤ちゃんひろば、児童館コスモス及び児童館ヒマワリで開催している子育てひろばは、休止となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として、利用定員を半数にす

るほか、ひろば事業については、利用時間を短くし、開催回数を増やすことで、利用機会の確保に努めました。

① 子育てサロンの開催

〈会場別開催日数〉

(単位：日)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	307	307	307	280	174	62.1
水辺のまちづくり館	—	50	46	47	27	57.4
児童館コスモス	151	152	152	139	82	59.0
児童館ヒマワリ	137	139	140	123	76	61.8
住まいの情報館	164	—	—	—	—	—
合 計	759	648	645	589	359	61.0

※ 住まいの情報館については、平成 28 年度(2016年度)をもって事業終了

※ 水辺のまちづくり館での子育てひろばは、平成 29 年度(2017年度)から市受託事業として開催(平成 28 年度(2016年度)までは社協事業「子育て支援事業」として報告)

〈会場別利用人数〉

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	7,835	8,076	7,603	6,933	2,899	41.8
水辺のまちづくり館	—	3,478	3,383	3,421	1,135	33.2
児童館コスモス	14,844	16,772	14,820	11,889	4,585	38.6
児童館ヒマワリ	12,792	11,753	13,209	11,458	3,904	34.1
住まいの情報館	3,999	—	—	—	—	—
合 計	39,470	40,079	39,015	33,701	12,523	37.2

② 講座等の開催

ア 子育てひろば・赤ちゃんひろば

就学前のお子さんを育てている方を対象に、ヴァリエ、水辺のまちづくり館、児童館コスモス・ヒマワリで子育てひろばを開催、0歳の赤ちゃんと保護者を対象にヴァリエ・水辺のまちづくり館では赤ちゃんひろばを開催しました。

子育ての楽しさを共有できる友達を作りたいという親子同士をサポートし、交流の輪を広げました。

イ 父親サロン

子育てサロンヴァリエでは、0・1・2歳児と父親を対象とした父親サロンを開催しました。子育てに関わる機会・情報の提供や親子のふれあい遊び、簡単工作、読み聞かせなどを行いました。

ウ 子育てひろば(テーマ別)

子育てサロンヴァリエでは、年齢別や転入者、誕生日など、多様なテーマごとに集う子育てひろば（テーマ別）を開催しました。

スタッフを交えて共通の話題で情報交換や交流を図りました。

エ 子育て講座

子育て支援団体を講師として招き、ベビーマッサージやリズム遊びなど、各種講座を開催しました。

〈講座等開催回数及び参加人数〉

内 容	回 数 (回)	参加人数 (人)	大 人 (人)	子 ども (人)
子育てひろば	409	10,034	4,878	5,156
赤ちゃんひろば	215	1,630	822	808
父親サロン	8	42	21	21
テーマ別	33	270	129	141
子育て講座	45	547	267	280
合計	710	12,523	6,117	6,406

③ 相談対応

〈会場別相談件数〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
ヴァリエ	10,539	11,115	11,819	11,533	7,301	63.3
水辺のまちづくり館	—	1,758	1,656	1,973	997	50.5
児童館コスモス	216	145	152	100	84	84.0
児童館ヒマワリ	249	215	309	305	194	63.6
住まいの情報館	5,207	—	—	—	—	—
合 計	16,211	13,233	13,936	13,911	8,576	61.6

〈内容別相談件数〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)	
子どもに関する こと	生活習慣	2,728	2,356	2,407	2,411	1,423	59.0
	発育・発達	3,397	2,921	3,038	3,058	1,956	64.0
	生活環境	1,719	1,390	1,521	1,346	942	70.0
	社会環境	2,722	2,038	2,042	2,031	1,172	57.7
	小 計	10,566	8,705	9,008	8,846	5,493	62.1
親自身に関する こと	家庭環境	1,903	1,542	1,692	1,706	1,067	62.5
	地域環境	844	616	686	633	376	59.4
	性 格	126	99	106	110	72	65.5
	仕 事	986	859	927	1,019	488	47.9
	ストレス	335	253	266	330	243	73.6
	子どもへの接し方	558	480	601	606	349	57.6
	そ の 他	893	679	650	649	488	75.2

	小計	5,645	4,528	4,928	5,053	3,083	61.0
	合計	16,211	13,233	13,936	13,899	8,576	61.7

(6) 「ふらっと」がもうの運営（市・商工会議所受託事業）

蒲生駅前商店街内の空き店舗を活用し、商店会の活性化と、地域の困りごとを地域で支える仕組みづくり事業（越谷市地域支え合いサービス事業）と高齢者の居場所づくり事業（越谷市助け合いの仕組み事業）を平成23年（2011年）10月1日より、越谷市商工会（現：越谷商工会議所）と越谷市から受託し運営しました。

また、「ふらっと」がもうが地域で身近に活用でき、理解が得られるよう、近隣の商店街店主や自治会長、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携しながら事業のPRを行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年（2020年）2月28日（金）から6月14日（日）までの期間と12月26日（土）から令和3年（2021年）3月21日（日）までの期間が臨時休館となりました。

① 越谷市地域支え合いサービス事業 サポートスタッフ派遣

高齢者や育児中の方のちょっとした困りごと（掃除、買い物代行、草むしり等）を地域で登録しているスタッフが手伝いました。また、サポートスタッフは謝礼として商品券を受け取り、地域の商店会（加盟店）での買い物をし、商店会の活性化にもつながりました。

〈地域支え合いサービス実施推移〉

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
サポートスタッフ登録者数（人）	48	43	31	29	27	93.1
新規サポートスタッフ登録者数（人）	6	8	1	0	2	—
利用会員登録者（人）	152	180	196	214	218	101.9
新規利用会員登録者数（人）	24	28	16	18	4	22.2
利用券販売枚数（枚）	132	148	253	286	142	49.7
支え合い活動数（回）	132	148	253	286	142	49.7

② 越谷市地域支え合いサービス事業 サポートスタッフ研修会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、研修を中止したため、サポートスタッフ登録状況確認の書面を用い、皆さんから意見を伺いました。

③ 越谷市地域支え合いサービス事業 地場産品・こしがやブランド認定品販売 地場産新鮮野菜やこめ油などのブランド認定品のPR・販売を行いました。

○販売金額 1,013,250円

④ 越谷市助け合いの仕組みづくり事業 高齢者の居場所づくり

高齢者や障がいをお持ちの方を中心に、1日平均30人程度が訪れ、来場者同

士お茶を飲みながら会話を楽しみました。

〈高齢者の居場所づくり利用推移〉

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
会館日数(日)		309	308	308	272	174	64.0
利用者数(人)		8,077	8,402	9,914	9,999	5,196	52.0
1日平均利用者数(人)		26.1	27.3	32.2	36.8	29.9	81.3
講座・ イベント	回数	24	24	23	21	0	—
	参加者数(人)	466	583	493	458	0	—
オレンジ カフェ	回数	—	—	—	—	4	—
	参加人数(人)	—	—	—	—	34	—

※ 空調故障のため、令和元年(2019年)8月8日から8月16日まで臨時休館

※ 令和2年度(2020年度)の講座・イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

※ 令和2年(2020年)9月より、越谷市地域包括ケア推進課が主催するオレンジカフェを開催

(7) 「ふらっと」おおぶくろの運営(市受託事業)

大袋駅前商店街内の空き店舗を活用し、商店会の活性化と高齢者の居場所づくり事業(越谷市助け合いの仕組み事業)を実施しました。

運営に当たり、事業の理解や利用促進を図るため、近隣の商店街店主や自治会長、民生委員・児童委員、ボランティア等と連携し、事業のPRを行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)2月28日(金)から6月14日(日)までの期間と12月26日(土)から令和3年(2021年)3月21日(日)までの期間が臨時休館となりました。

① 越谷市助け合いの仕組みづくり事業 高齢者の居場所づくり

高齢者や育児中の方などを中心に、1日平均20人程度が訪れ、来場者同士の交流を促しました。

〈高齢者の居場所づくり利用推移〉

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
会館日数(日)		308	267	307	281	178	63.3
利用者数(人)		14,584	12,227	15,424	14,481	3,697	25.5
1日平均利用者数(人)		47.4	45.8	50.2	51.5	20.8	40.4
講座・ イベント	回数	44	34	37	39	0	—
	参加者数(人)	1,865	1,253	1,461	1,499	0	—
オレンジ カフェ	回数	—	—	—	—	4	—
	参加人数(人)	—	—	—	—	64	—

※ 平成29年(2017年)11月13日(月)から12月28日(木)まで、漏水事故発生に伴う復旧工事のため臨時休館

※ 令和2年度(2020年度)の講座・イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大

防止の観点から、中止

※ 令和2年(2020年)9月より、越谷市地域包括ケア推進課が主催するオレンジカフェを開催

(8) 介護支援ボランティア制度事業(市受託事業)

越谷市助け合いの仕組みづくり事業の一環として、高齢者の健康増進や介護予防とともに社会参加活動を促進することを目的に実施しました。この事業は、特別養護老人ホーム等で行ったボランティア活動に対して、ポイントを給付し、年間のポイント数に応じて5,000円を上限とした交付金を交付するものです。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ボランティアの受入れの休止期間、または、年間通じて中止とした施設がありました。

〈介護支援ボランティアの推移〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
登録人数(人)	267	262	261	262	201	76.7
受入施設数(か所)	90	96	102	106	104	98.1

(9) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会

ア 第1回運営委員会

○期 日 令和2年(2020年)7月30日(木)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 令和元年度事業報告について
令和2年度事業計画について

○出席者 9人

イ 第2回運営委員会

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和3年(2021年)2月24日(水)

○内 容 令和2年度の主な事業の取り組みについて
令和3年度事業計画(案)について

○出席者 10人

② ボランティアセンターの運営

ア ボランティア登録

ボランティア活動の積極的な推進のため、相談受付後、活動希望者の登録をすすめています。

〈ボランティア登録状況〉

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
活動希望者数	192	262	235	129	68	52.7

新規登録者数	67	81	74	50	19	38.0
活動者数 (登録者数)	2,026 (1,382)	2,124 (1,423)	2,045 (1,460)	1,741 (1,446)	1,187 (1,407)	68.2 (97.3)

※ 活動者数…複数のグループで活動している延べ活動者数

イ ボランティア依頼への対応（連絡調整）

施設や学校、個人等からのボランティア依頼に対し、調整・依頼を行いました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設等でのボランティアの受入れが困難となったため、前年度と比較して大幅に減少しています。

〈ボランティア依頼対応件数〉

（単位：件）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
依頼(対応)数	351	279	387	283	8	2.8

ウ ボランティア保険

ボランティア活動中のケガや事故に備え、全国社会福祉協議会「ボランティア活動保険」「ボランティア行事保険」「福祉サービス総合保障」「送迎サービス保障」の取扱いを行いました。

・全国社会福祉協議会ボランティア活動保険等取扱い件数 1,219件

エ ボランティア相談

中央市民会館2階ボランティア相談コーナー及びボランティアセンターでは、ボランティア相談員や担当職員が個人、団体、学校、福祉施設等からのあらゆる相談に対応しました。

○相談日 月～土曜日（10時～16時）

○開設日数 266日

○相談件数 1,644件（月平均137件）

オ ボランティア情報提供

中央市民会館2階ボランティア活動室入口に掲示板を設置するとともに、相談コーナーにてパソコン等を活用し、情報提供を図りました。

〈ボランティア相談件数〉

（単位：件）

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
相談件数	2,548	2,733	2,864	2,867	1,644	57.3

〈ボランティア相談状況〉

相談総数1,644件

区 分	内 容	件・人数	割合(%)
年 代	70歳代	547	33.3
	60歳代	399	24.3
	50歳代	174	10.6
	80歳代以上	150	9.1
	40歳代	105	6.4
	10歳代	52	3.2
	20歳代	34	2.1
	30歳代	28	1.7
	10歳未満	6	0.4
	不明	149	8.9
相談内容	ボランティア活動保険加入	1,219	74.1
	活動がしたい	68	4.1

	寄付したい	54	3.3
	登録廃止	53	3.2
	寄付して欲しい	25	1.5
	その他(新規登録、情報がほしい等)	225	13.8
相 談 者	Vグループ	786	47.8
	個人	467	28.4
	団体	236	14.4
	社協	62	3.8
	行政関係	33	2.0
	その他(企業、施設関係等)	60	3.6
受付方法	来訪	1,477	89.8
	電話	133	8.1
	文書	29	1.8
	その他	5	0.3
曜 日	金曜日	418	25.4
	水曜日	373	22.7
	火曜日	318	19.4
	月曜日	264	16.1
	木曜日	252	15.3
	その他(土曜日・日曜日)	20	1.1

※ 上記の表については、区分ごとに集計件数の多い順に記載しています。

カ ボランティア団体育成事業

地域に密着した活動を展開している各地区会食サービスグループ等に対し、活動場所の提供等の支援をしました。

③ 災害ボランティアセンター

災害時に市と連携して住民の被災状況を考慮し、災害ボランティアによる支援が必要であると認められる場合に、迅速に災害ボランティアセンターを設置できるよう平時から準備をしています。

また、災害ボランティアセンターの役割を説明し、広くPRしていくことを目的に、防災訓練に参加し、地域住民に対する災害ボランティアセンターのPRに努めています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、越谷市の総合防災訓練等の開催が中止となりました。

④ 災害ボランティア登録制度

災害ボランティアとして活動する意欲のある個人又は団体を対象として、登録希望者の登録事務を行いました。

〈登録者数〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
個 人(人)	68	80	104	99	106	107.0
団 体(件)	3	3	4	4	5	125.0

(10) ボランティア体験学習事業

① 令和2年度ジュニアボランティアスクール

小学生を対象に福祉教育の一環として各プログラムを行い、幅広い視野を養うとともにハンディキャップのある方達を正しく理解し、ノーマライゼーションの理念に基づく福祉の心を育成することを目的として開催しました。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、在宅での動画視聴と、オンラインでの講義を組み合わせたプログラムを実施しました。

ア 期 日	令和2年(2020年)8月9日(日)
イ 会 場	中央市民会館2階ボランティア活動室
ウ 内 容	オンライン車いす体験 低学年コース(1・2・3年生) 高学年コース(4・5・6年生)
エ 講 師	越谷市社会福祉協議会職員
オ 参加者	児童低学年 18人 児童高学年 11人

② 令和2年度青少年ボランティアスクール

青少年を対象に福祉体験学習を実施し、高齢者・障がい者・児童とふれあうことにより、社会福祉についての理解と関心を高めるとともに、仲間づくりや自己発見の場とすることを目的として毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、8月に開催を予定していた事業の実施を中止しました。

③ 福祉教育活動研修

福祉体験学習を実施する小・中学校教職員を対象に福祉教育における専門的な知識を深めることを目的として、毎年研修会を開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、5月に開催を予定していた事業の実施を中止しました。

④ 福祉体験学習支援

福祉教育の一環として、福祉体験学習を実施する学校に対し、プログラムの提案を行うため、市内小・中学校の教職員を対象に福祉体験学習説明会を毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、5月に開催を予定していた事業の実施を中止しました。

⑤ ボランティア専門講座

福祉の現状や課題について学ぶことを通して、ボランティアとしての資質の向上を図り、ボランティア活動の活性化と継続、その後のボランティア活動の広がりへとつなげていくことを目的として毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の

観点から、2月に開催を予定していた事業の実施を中止しました。

⑥ ボランティア入門講座

ボランティア活動に関心のある方や関心はあるがまだ活動していない方を対象に、ボランティア活動に必要な知識を学び、ボランティア活動への理解を深め、活動に結びつけるきっかけづくりとすることを目的に開催しました。

- ア 期 日 1日目 令和2年(2020年)10月24日(土)
2回目 11月21日(土)
3回目 令和3年(2021年)2月27日(土)※
4回目 3月27日(土)
- イ 会 場 中央市民会館2階ボランティア活動室、1階こぼと館社会適応訓練室
- ウ 内 容 「ボランティア活動の基礎知識について」
越谷市内ボランティア活動紹介やボランティア保険加入手続き
- エ 参加者 1日目7人、2日目6人、3日目※、4日目6人
- ※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

⑦ 福祉教育

ア 福祉体験学習(学校分)

福祉教育推進の成果として、小学校23件(児童1,997人、教職員57人)、中学校8件(生徒904人、教職員23人)が視覚障がい体験・車いす体験・手話体験等を実施し、その活動について支援しました。

〈実施状況〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
小学校数(件)	55	43	42	41	23	56.1
児童数(人)	5,461	4,107	3,930	3,930	1,997	50.8
PTA数(人)	9	14	11	96	0	—
教職員数(人)	129	115	125	104	57	54.8
中学校数(件)	37	21	22	16	8	50.0
生徒数(人)	1,828	1,628	1,714	726	904	124.5
PTA数(人)	27	0	0	0	0	—
教職員数(人)	46	51	51	22	23	104.5
高等学校数(件)	1	2	3	2	0	—
生徒数(人)	41	52	181	126	0	—
教職員数(人)	2	4	6	4	0	—
その他団体(件)	8	14	12	9	0	—
参加数(人)	201	253	309	155	0	—
学校総数(件)	93	66	67	59	31	52.5
参加者総数(人)	7,543	5,971	6,327	5,163	2,981	57.7

〈体験学習内容〉

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年度	対前年度比(%)
聴覚障がい	10	9	8	9	5	55.6
	4	3	1	4	2	50.0

	高等学校	0	0	1	0	0	—
	小 計	14	12	10	13	7	53.8
視 覚 障がい	小 学 校	15	13	14	12	7	58.3
	中 学 校	8	5	6	3	2	66.7
	高等学校	1	2	0	1	0	—
	小 計	24	20	20	16	9	56.3
点 字	小 学 校	6	6	4	7	0	—
	中 学 校	5	2	3	1	0	—
	高等学校	0	0	1	0	0	—
	小 計	11	8	8	8	0	—
車いす	小 学 校	15	13	10	8	8	100.0
	中 学 校	6	5	6	3	2	66.7
	高等学校	0	0	1	1	0	—
	小 計	21	18	17	12	10	83.3
拡 大 写 本	小 学 校	1	1	1	1	1	100.0
	中 学 校	4	2	1	1	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小 計	5	3	2	2	1	50.0
朗 読	小 学 校	0	0	0	0	0	—
	中 学 校	1	0	0	1	0	—
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小 計	1	0	0	1	0	—
高 齢 者 疑 似	小 学 校	4	0	3	1	2	200.0
	中 学 校	7	3	3	2	1	50.0
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小 計	11	3	6	0	3	—
認知症 サポーター 養成講座	小 学 校	4	1	2	3	0	—
	中 学 校	2	1	2	1	1	100.0
	高等学校	0	0	0	0	0	—
	小 計	6	2	4	4	1	25.0
合 計		93	66	67	59	31	52.5

イ 福祉体験学習（その他）

令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体からの依頼はありませんでした。

3 共同募金配分事業

(1) 社協支部活動支援事業

13支部に対し、地域の実状にあった福祉活動及び福祉コミュニティの推進が図れるよう、福祉事業補助金として、2,003,235円を交付しました。

(2) ふれあい福祉センター事業

① 総合福祉相談

住民の日常生活上の相談に対し、適切な助言と必要に応じて専門機関や福祉サービス等を紹介し福祉の充実を図ることを目的に、昭和43年(1968年)から相談事業を実施してまいりました。社会福祉協議会事務所において、福祉相談を行い、対応困難なケースなどについては、必要に応じ関係機関へつなげました。

② 専門相談

ア 法律相談

○相談日 毎月第1・3月曜日(10時～12時)

○場 所 中央市民会館2階福祉相談室

○相談員 弁護士

〈法律相談の推移〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
相談者数(人)	67	66	48	39	20	51.3
相談件数(件)	57	54	45	40	24	60.0
相談分野別件数(件)	58	56	48	40	24	60.0
内 訳 (件)	一般民事	10	9	5	7	71.4
	損害賠償	5	6	8	4	50.0
	労働関係	0	0	2	1	—
	家族、親族	27	20	21	19	52.6
	破産、債務	4	8	4	6	16.7
	不動産	7	7	3	2	50.0
	その他	5	6	5	1	500.0

※ 重複して相談するケースがあるため、分野別件数と相談件数は相違します。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4月の2回目と5月は中止

※ 令和2年(2020年)6月から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面ではなく、電話による相談に変更

イ ボランティア相談

○相談日 月～土曜日(10時～16時)

○場 所 中央市民会館2階ボランティア相談コーナー

○相談員 ボランティア活動実践者

※ ボランティア相談の詳細は、P 27、28参照

ウ 貸付相談

福祉資金や生活福祉資金などの貸付けを通しての相談を行いました。

〈貸付相談の推移〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
生活福祉資金	410	692	977	1,292	577	44.7
福 祉 資 金	324	499	792	970	281	29.0
そ の 他	47	31	34	59	20	33.9

(3) 高齢者福祉活動事業

① 会食サービス

市内在住で70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、ボランティアとの交流や情報交換の場として会食サービスを行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、食事の提供を伴う交流を休止し、代替内容として、食料品の配付(1人400円程度)、電話や訪問による安否確認など、市内19か所の状況に応じて交流を実施しました。

また、歳末たすけあい配分事業として、12月開催日にボランティアの協力で参加者へお蕎麦を520セット配付しました。

〈会食サービスの推移〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
会 場 数(か所)	19	19	19	19	19	100.0
ボランティヤ数(人)	313	304	299	284	270	95.1
参 加 者 数(人)	543	552	532	526	490	93.2
年間提供延食数(食)	6,692	6,564	6,464	5,832	—	—
内歳末事業分	1,669	1,664	1,594	1,584	520	32.8
決算状況(円)	3,624,500	3,559,500	3,498,000	3,179,000	1,242,912	39.1
内歳末事業分	1,112,000	1,109,500	1,063,000	1,055,000	623,376	59.1

② シルバーカレッジ (共催)

生涯学習の一環として、高齢者が社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を培い、社会参加と生きがいを創造することを目的として、毎年8月から全10回のコースで、市内大学などで開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

③ 敬老会 (共催)

多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、す

べての人々が老後への理解を深め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう「越谷市敬老会」を毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、9月に開催を予定していた事業の実施が中止となりました。

(4) 障がい児・者福祉活動事業

① 障害者の日記念事業「ふれあいの日」(共催)

「心豊かな福祉のまちづくり」をテーマに障がい者と健常者が交流し、理解を深める場として、実行委員会を組織し、ふれあいの日を毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、6月に開催を予定していた事業の実施が中止となりました。

② 福祉車両貸出し

市内在住で歩行困難な方に、車いすに乗ったまま乗降可能な介護車両(ミニバン1台・軽ワゴン1台)を貸し出しました。

〈貸出状況〉

(単位:件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
ミニバン	109	110	117	87	2	2.3
軽ワゴン	121	138	135	124	23	18.5

※ ミニバンは経年劣化により、6月末で廃車

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月中旬から6月末まで貸出し中止

③ 車椅子貸出し

市内在住で車いすを必要とする方に車いすを貸出しすることにより、介護負担の軽減等を図りました。

また、引き続き老人福祉センター4館における貸出しをすることにより、利用者の利便性向上に努めました。

〈貸出状況〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
所有台数	69	75	73	75	70	93.3
貸出件数	379	427	375	368	259	70.4

(5) ボランティア活動育成事業

① ボランティア活動基盤整備

ア 音訳ボランティア

視覚に障がいのある方に「広報こしがや」「社協だより」「議会だより」等をCDに吹き込み郵送している、音訳ボランティアグループ「声のおたより」の活動

に対し、活動場所の提供等の支援をしました。

イ 拡大写本ボランティア

盲学校や小・中学校等からの依頼で、弱視児のための教科書や児童書等の拡大写本づくりをしている拡大写本グループの活動に対し、製本作業の効率化のために消耗品を提供し活動を支援しました。

ウ 友愛通信ボランティア

市内在住で70歳以上の一人暮らし高齢者にお便りを送っている友愛通信グループに、ハガキを提供し活動を支援しました。

○活動者数 68人

○送付枚数 1,380枚

② ボランティア情報提供

ア ボランティア情報「ピュア」による情報提供

ボランティア活動の啓発及び情報提供としてボランティア情報「ピュア」を社協だよりに掲載し、年6回市内全戸に配布しました。

イ メール配信サービス

ボランティアに関する情報をより広くPRするため、電子メールを活用した配信サービスを開始し、よりタイムリーな情報提供を行いました。

○配信回数 72回

○配信先 登録者183人、市内施設67件

③ 「第29回ボランティアフェスティバル こしがや」(共催)

市民へのボランティア活動の啓発と日ごろ活動しているボランティア同士の交流を目的に毎年開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、12月に開催を予定していた事業の実施を中止としました。

(6) 低所得者福祉対策事業

○緊急援護

不測の事態により、緊急に援護を必要とする人に対し、鉄道乗車券(東武鉄道越谷～浅草区間、越谷～久喜区間、JR 南越谷～新宿区間、南越谷～松戸区間)や食料品(アルファ米、備蓄用パン)の現物支給による援護を行いました。

〈利用状況〉

(単位：件)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
鉄道乗車券	17	7	8	7	11	157.1
現物支給	4	1	6	5	10	200.0

(7) 情報提供・啓発事業

① こしがや社協だより

越谷市社会福祉協議会の広報紙として、事業の紹介や募集など各種福祉情報をタブロイド版全8ページで年6回、各号115,000部発行し、全戸配布しました。

発行号	主な内容
第229号（5月1日発行）	ふれあいサロン、福祉推進員
第230号（7月1日発行）	ジュニアボランティアスクール
第231号（9月1日発行）	市民後見人の紹介
第232号（11月1日発行）	歳末たすけあい募金
第233号（1月1日発行）	ほほえみサービス
第234号（3月1日発行）	障がい関連の指定管理施設（こばと館、しらこばと）

② 越谷市社協ホームページ

事業の紹介や募集など各種福祉情報の広報啓発に努めました。より見やすいホームページと敏速な情報提供を目指し検討しました。

（8）地域福祉活動協力団体支援事業

地域福祉事業に積極的かつ恒常的に協力しながら地域福祉活動等を実施している団体に補助金を交付しました。

ア 助成団体数 2団体

イ 助成金額 1,707,000円

（内訳）越谷市ボランティア連絡会 1,081,500円

越谷市民生委員・児童委員協議会 625,500円

（9）歳末たすけあい配分事業

援助や支援を必要とする人たちが、地域で新たな年を迎える時期にあたり、物心両面の援護活動を進めるため、市民から寄せられた歳末たすけあい募金の配分事業を推進しました。

① 歳末たすけあい検討委員会

ア 第1回委員会

○期 日 令和2年(2020年)9月16日(水)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 令和元年度歳末たすけあい配分事業について(報告)
令和2年度歳末たすけあい配分事業について

○出席者 11人

イ 第2回委員会

○期 日 令和2年(2020年)12月3日(木)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 令和2年度歳末たすけあい配分事業について
令和3年度年度歳末たすけあい配分事業(案)について

○出席者 8人

② 配分内容

ア 歳末援護金の配分

民生委員・児童委員の協力により、低所得世帯に対し、歳末援護金を配分し、金銭的な支援を行いました。

- ・世帯数 246世帯(411人)
- ・配分総額 8,765,000円

イ 一人暮らし高齢者会食サービスへの援助

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、食事の提供を伴う交流を休止していることから、12月開催日にボランティアの協力で参加者へお蕎麦を520セット配付しました。

- ・団体数 19団体
- ・助成総額 623,376円

ウ 民生委員・児童委員の協力により、低所得世帯の子ども（未就学児、小学生、中学生、高校生、専門学校生、大学生）に対し、図書カードを配付し、子育て支援、学習支援を行いました。

- ・配付人数 92人
- ・助成総額 704,000円

エ 広報等経費

歳末たすけあい運動を広く市民に理解いただく広報活動を展開するため、569,494円を活用しました。

4 生活支援総合推進事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

埼玉県社会福祉協議会が実施主体となり行っている、自立更生支援のための貸付制度（生活福祉資金）についての相談・申請の受付を行いました。

本制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、自立支援及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

行政やハローワーク等関係機関との連携を図りながら、総合的な相談に応じ、世帯の自立に向けた援助を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となった世帯に対し、令和2年(2020年)3月から特例貸付の申請を受け付けました。

〈生活福祉資金等貸付の推移〉

(単位：円)

区 分			平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
福祉資金	福祉費	生 業 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		技 能 習 得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		福祉資金	4	5,476,000	4	801,000	6	6,587,000	9	4,360,000	2	346,000
		療養・介護資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	緊急小口資金	11	990,000	13	1,120,000	5	500,000	10	902,000	6	600,000	
教育支援資金	教育支援費	1	762,000	2	2,096,000	2	920,000	1	555,000	2	1,132,000	
	就学支度費	0	0	0	0	1	118,000	1	233,000	2	886,000	
	教育・就学支度費	0	0	0	0	5	5,907,000	5	2,470,000	3	3,068,000	
不動産担保型生活支援資金			2	10,500,000	2	22,400,000	3	20,902,000	4	30,740,000	1	7,350,000
総合支援資金	生活支援費	2	470,000	0	0	0	0	0	0	2	444,000	
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	2	431,000	
	一時再建費	1	108,000	0	0	0	0	0	0	2	342,000	
臨時特例つなぎ資金			0	0	0	0	0	0	0	0	1	99,000
特例※コロナ	緊急小口資金	-	-	-	-	-	-	14	2,600,000	2,454	471,660,000	
	総合支援資金	-	-	-	-	-	-	0	0	1,920	1,019,642,000	
	総合支援資金(延長)	-	-	-	-	-	-	-	-	828	451,950,000	
	総合支援資金(再貸付)	-	-	-	-	-	-	-	-	254	135,760,000	
合 計			21	18,306,000	21	26,417,000	22	34,934,000	44	41,860,000	5,479	2,093,710,000

※ 令和2年(2020年)3月25日から受付開始

(2) 福祉資金貸付事業

経済的理由により、一時的な生活困窮世帯に対し、生活の安定及び自立が図れるよう福祉資金の貸付を行いました。

なお、滞納世帯に対しては、滞納金額の督促を行い、現在の世帯における生活実態を把握し、自立に向けた相談に応じました。

○福祉資金運営委員会

ア 第1回運営委員会

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和2年(2020年)6月9日(火)

○内 容 福祉資金現況報告について
令和元年度福祉資金貸付状況報告について
滞納世帯状況報告と今後の対応について
令和元年度福祉資金貸付欠損報告について

○出席者 10人

イ 第2回運営委員会

○期 日 令和2年(2020年)11月25日(水)

○会 場 中央市民会館5階会議室

○内 容 福祉資金現況報告について
令和2年度上期福祉資金貸付状況報告について
滞納世帯状況報告と今後の対応について

○出席者 9人

〈貸付内容〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
貸付件数(件)	178	231	232	236	143	60.6
貸付金額(円)	4,221,600	5,881,000	5,895,500	5,364,000	3,242,500	60.4

※ 貸付限度額…5万円以内・無利子

(3) 石川奨学福祉基金奨学資金給与事業

奨学基金から生じる利子を、市内在住の母子世帯等の経済的な理由により修学が困難な生徒に対し、奨学資金として29人に合計1,740,000円を給与しました。また、事業のPRを図るため、市内の中学校及び高等学校(公立・私立)へ事業の案内を行いました。

① 石川奨学福祉基金運営委員会

ア 第1回運営委員会

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和2年(2020年)5月11日(月)

○内 容 令和元年度奨学金給与状況について
令和2年度奨学生の選定について

- 出席者 5人
- イ 第2回運営委員会
 - 期 日 令和2年(2020年)11月13日(金)
 - 会 場 中央市民会館4階会議室
 - 内 容 令和2年度奨学金給与状況について
令和3年度奨学生の募集について
 - 出席者 6人

② 資産運用

〈債券〉

(単位:円)

	銘柄	利率	償還日	額面	利息額	単年度利息額
1	第126回利付国債(20年)	2.0	2031.3.20	1億円	2,000,000円	200万円
				減価償却	0円	—
合 計		—	—	1億円	2,000,000円	

令和3年(2021年)3月31日現在

〈預貯金〉

(単位:円)

	預け入れ先	預 貯 金	種 類	令和2年度利息額
1	埼玉りそな銀行越谷支店	7,224,899	決済用預金	0
合 計		7,224,899		0

令和3年(2021年)3月31日現在

③ 石川奨学福祉基金給与証書交付式

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、5月に開催を予定していた交付式の開催を中止としました。

(4) 福祉サービス利用援助事業(県社協受託事業)

高齢や知的障がい、精神障がいなどの理由で必要な福祉サービスを自身の判断で適切に選択、利用することが難しい方を対象に福祉サービス利用援助や日常的金銭管理などの援助を行いました。また、利用件数の増加及び多様なニーズに対応できるよう、生活支援員及び専門員の資質の向上を図るとともに、行政、地域包括支援センター等関係機関と連携を図り、利用者の生活課題の解決に取り組みました。

成年後見制度の利用が必要な利用者については、成年後見制度へスムーズに移行ができるよう、成年後見センター事業と連携を図りました。

① 会議・研修への参加

会議名	期 日	会 場	内 容
専門員専門研修	2月24日(水)	オンライン	○専門員として、社協職員としての関係機関との関わり方

専門員会議	2月24日(水)	オンライン	○日常生活自立支援事業の動向と次年度事業 ○成年後見事業と日常生活自立支援事業 ○リスクマネジメントに関すること ○年度末の事務手続きについて
-------	----------	-------	--

○担当者会議への参加 3回

② 越谷市社協が主催した会議・研修

ア 生活支援員研修

- 期 日 令和2年(2020年)11月12日(木)
- 会 場 中央市民会館1階 こぼと館
- 内 容 事例検討、情報交換 ほか
- 参加者 8人

③ 事業の状況

〈福祉サービス利用援助事業相談受付状況〉

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
相談 人数 (人)	高 齢 者	45	71	78	105	53	50.4
	知的障がい者	3	11	3	10	5	50
	精神障がい者	16	33	20	43	25	58.1
	そ の 他	24	49	91	16	7	43.8
	計	88	164	192	174	90	51.7
相談 件数 (件)	高 齢 者	154	157	141	163	68	41.7
	知的障がい者	62	23	5	11	11	100
	精神障がい者	37	53	49	63	37	58.7
	そ の 他	36	52	99	17	7	41.2
	計	289	285	294	254	123	48.4

〈新規契約状況〉

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
高 齢 者	18	14	12	5	0	—
知的障がい者	1	1	2	0	0	—
精神障がい者	3	3	7	0	2	200
そ の 他	0	0	0	0	0	—
計	22	18	21	5	2	40

※ 変更契約を除く

〈福祉サービス利用援助事業生活支援員活動状況〉

(単位：回)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
高 齢 者	921	810	821	630	404	64.1
知的障がい者	74	55	60	72	12	16.7

精神障がい者	426	369	304	232	188	81
その他	27	19	0	0	0	—
計	1,448	1,253	1,185	934	604	64.7

〈令和2年度契約状況〉

(単位：件)

区分	前年度(継続)	新規	解約	年度末契約件数
高齢者	38	0	11	27
知的障がい者	1	0	0	1
精神障がい者	12	2	1	13
その他	0	0	0	0
計	51	2	12	41

〈利用者内訳〉

① 日常的金銭管理の支援方法

区分	件数(件)
同行	16
代行	1
代理	17
金銭管理なし	7
計	41

② 収入状況

区分	件数(件)
生活保護	22
年金等	19
計	41

③ 世帯構成

区分	件数(件)
一人暮らし	38
同居	3
計	41

- ※ 同行 本人と一緒に金融機関へ行く方法
 代行 書類の作成は本人が行い、手続きのみ代行する方法
 代理 社会福祉協議会が代理人として手続きを行う方法

5 愛の詩基金事業

(1) 愛の詩基金運営委員会

○運営委員会

ア 第1回

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和3年(2021年)2月19日(金)

○内 容 令和2年度の寄付金及び基金運用について
果実事業の進捗状況と令和3年度の事業計画・予算(案)について

(2) 積立事業

昭和59年(1984年)7月に創設した「愛の詩基金」の増強を、愛の詩基金設置要綱に基づき積極的に推進しました。

市民や行政の理解により基金の累計額は、平成4年(1992年)7月に5億円を突破し、その後、平成8年(1996年)12月には10億円、令和元年(2019年)6月には17億円に到達しました。現在、目標額を20億円に設定し、寄付の受付、基金の運用を行っています。

基金の管理運用にあたっては、資金管理方針に基づき、安全性と有益性を求め、国債、政府保証債等の債券により運用しました。

① 寄付金実績

〈令和2年度寄付金実績〉

区 分	件数(件)	金額(円)
団体寄付金	36	1,246,730
個人寄付金	25	763,644
基金箱寄付金	18	89,664
合 計	79	2,100,038

〈愛の詩基金累計〉

(単位:円)

年 度	寄 付 金 等 ①	利 息 等 ②	小 計 ③ (①+②)	果実事業使用額 ④	合 計 ⑤ (③-④)
平成27年度迄	1,276,186,398	500,198,400	1,776,384,798	142,665,481	1,633,719,317
平成28年度	7,442,264	29,853,511	37,295,775	12,148,264	25,147,511
平成29年度	2,650,526	30,150,875	32,801,401	10,948,805	21,852,596
平成30年度	2,850,908	30,150,875	33,001,783	16,332,285	16,669,498
令和元年度	2,823,896	30,295,204	33,119,100	17,212,963	15,906,137
令和2年度	2,100,038	30,788,873	32,888,911	13,264,421	19,624,490
合 計	1,294,054,030	651,437,738	1,945,491,768	212,572,219	1,732,919,549

② 資産運用

〈預貯金〉

(単位：円)

	預け入れ先	利率	預貯金	種類	利息額
1	埼玉りそな銀行越谷支店	—	35,156,635	決済用預金	0
合 計			35,156,635		0

令和3年(2021年)3月31日現在

〈債券〉

	銘 柄	利率	償 還 日	額 面	令和2年度利息額	単年度利息額
1	第93回 利付国債(20年)	2.000	2027. 3. 20	2億円	4,000,000円	400.0万円
2	第114回 利付国債(20年)	2.100	2029. 12. 20	2億円	4,200,000円	420.0万円
3	第119回 利付国債(20年)	1.800	2030. 6. 20	1億円	1,800,000円	180.0万円
4	第121回 利付国債(20年)	1.900	2030. 9. 20	3億円	5,700,000円	570.0万円
5	第124回 利付国債(20年)	2.000	2030. 12. 20	2億円	4,000,000円	400.0万円
6	第83回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)	1.900	2032. 3. 19	2億円	3,800,000円	380.0万円
7	第13回 東京都公募債(30年)	1.930	2042. 3. 19	2億円	3,860,000円	386.0万円
8	第1回地方公共団体金融機構債券(30年)	1.864	2044. 6. 28	1億円	1,864,000円	186.4万円
9	第170回日本高速道路保有・債務返済機構債券(40年)	0.698	2055. 3. 19	1億円	698,000円	69.8万円
10	第34回東京都住宅供給公社債券(30年)	0.643	2049. 6. 18	1億円	643,000円	64.3万円
				減価償却	223,873円	
合 計		平均 1.798	平均残存年限 13.87年	17億円	30,788,873円	3,056.5万円

令和3年(2021年)3月31日現在

(3) 果実事業

愛の詩基金運営要綱第4条の規定に基づき、地域福祉推進を目的に、次の事業に13,264,421円の果実(利息)を活用しました。

① 紙おむつ等配付事業

市内在住の紙おむつ等を必要とする①②③の方に、希望の紙おむつや尿取りパッド等を自宅まで配送することにより、本人及び家族の経済的・精神的負担の軽減に努めました。

ア 対象者

- ① 在宅で介護保険の要介護1～5の認定を受け、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方
- ② 在宅で身体障害者手帳(1級又は2級の方に限る)もしくは療育手帳(A又はAの方に限る)の交付を受け、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方
- ③ 在宅で2歳未満の子どもを養育し、世帯全員が市・県民税非課税世帯の方

イ 助成金額 10,306,057円(事務経費含む)

〈延配付者数〉

(単位：人)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
介護保険	要介護 5	170	153	180	194	171	88.1
	要介護 4	217	241	248	255	237	92.9
	要介護 3	203	270	296	351	297	84.6
	要介護 2	312	343	428	531	484	91.1
	要介護 1	234	293	347	445	478	107.4
身体障害者 手帳	1 級	46	54	44	32	26	81.3
	2 級	31	23	25	20	12	60.0
療育手帳	㊤	17	12	10	7	12	171.4
	A	0	8	6	2	2	100.0
2 歳未満		5	16	19	20	13	65.0
合 計		1,235	1,413	1,603	1,857	1,732	93.3

※ 平成 26 年度(2014年度)までは年 3 回の配付(8月、11月、2月)、平成 27 年度(2015年度)から年 2 回の配付(9月、2月)に変更

② 社会福祉活動団体等支援事業

地域福祉の推進に関する事業を実施する社会福祉活動団体等に対し、助成金を交付しました。

- ・助成団体数 3 団体
- ・助成金額 299,000 円

〈助成内訳〉

	団体名	事業名	助成金額(円)
1	あゆみの会	あゆみの会農園 活動事業	73,000
2	ハッピーベリー	障がい者理解への交流事業	160,000
3	越谷市生涯学習推進課	講演会 多くの人を色でハッピーに！ 色で元気にする！	66,000
合 計			299,000

ア 助成金審査委員会

① 第 1 回

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

○期 日 令和 2 年(2020年) 5 月 29 日(金)

○内 容 令和元年度助成金交付団体の報告について
令和 2 年度助成金申請状況及び審査について

○出席者 10 人

② 第 2 回

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面審議

- 期 日 令和3年(2021年)2月15日(月)
- 内 容 令和2年度助成金交付団体の報告について
令和3年度助成金について
- 出席者 10人

③ 子育て支援事業

ア 子育て応援フェスタ

公益財団法人越谷市施設管理公社と共催で就学前のお子さんと保護者を対象に、親子で楽しめるイベントを毎年開催し、子育ての情報を提供しています。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、12月に開催を予定していた事業の実施が中止となりました。

イ ふれあいひろば

子育ての悩みや楽しさを共有できる友だちを作りたいという親子同士をサポートし、交流の輪を広げることを目的として、0歳の赤ちゃんを育てている方を対象に、「ふらっと」おおぶくろとイオンせんげん台店でふれあいひろばを開催しています。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
「ふらっと」 おおぶくろ	開催回数	51	44	51	37	0	—
	大人(人)	283	287	424	338	0	—
	子ども(人)	281	279	419	342	0	—
	合計(人)	564	566	843	680	0	—
水辺のまちづ くり館	開催回数	51	—	—	—	—	—
	大人(人)	1,558	—	—	—	—	—
	子ども(人)	1,596	—	—	—	—	—
	合計(人)	3,154	—	—	—	—	—
イオン せんげん台店	開催回数	—	—	—	11	0	—
	大人(人)	—	—	—	94	0	—
	子ども(人)	—	—	—	97	0	—
	合計(人)	—	—	—	191	0	—

※ レイクタウン水辺のまちづくり館でのふれあいひろばは、平成29年度(2017年度)より市受託事業へ移行

ウ 子育てサロン職員派遣

ふれあいサロン(子育て分野)に登録しているサロンからの依頼を受け、職員を派遣し、季節にまつわるレクリエーション等を実施し、活動支援を行っています。今年度は、依頼がありませんでした。

④ ファミリー・サポート・センター事業利用料助成事業

こしがやファミリー・サポート・センター事業の利用登録をしている対象世帯に利用料助成を行いました。

ア 対象者 越谷市内の利用会員のうち、次のいずれかの世帯

○生活保護受給世帯

○世帯全員の市・県民税が非課税世帯

○児童扶養手当の支給対象世帯または、ひとり親家庭等の医療費の支給対象世帯

イ 助成額 1か月の利用料の1/2を助成（1か月の助成限度額は2万円）

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
登録件数 (件)	13	7	12	13	14	107.7
助成金額 (円)	355,630	176,870	252,760	437,869	361,200	82.5

※ 平成 25 年度 (2013 年度) までは、1か月に3万円を限度額として、支給

⑤ 火災見舞金給付

火災による被害を受けた被災者等に、1世帯につき10,000円を見舞金として給付しました。

〈給付状況〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
給付件数	7	6	8	3	5	166.7

⑥ ふれあいサロン助成事業

ふれあいサロン事業を積極的に支援するため、運営費の一部助成を行いました。また、アルコール消毒液や体温計等の衛生用品購入費用として、1か所につき1万円、合計115万円を臨時に助成しました。

〈助成状況〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
助成サロン数 (件)	92	102	106	119	60	50.4
助成金額 (円)	1,999,870	2,304,860	2,784,270	2,950,200	794,830	26.9

※ 平成 29 年度 (2017 年度) までは、会員会費を財源に実施

⑦ 福祉サービス利用援助事業利用料助成事業

福祉サービス利用援助事業を利用する低所得世帯に対し、利用料を助成し、利用者の負担を軽減するとともに新規利用者が安心して利用できる環境を整備しました。

〈助成状況〉 利用料金の9割を助成

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
助成件数 (件)	17	22	20	17	11	64.7
助成金額 (円)	491,400	444,060	415,800	390,960	188,640	48.3

※ 平成 29 年度 (2017 年度) までは、会員会費を財源に実施

6 在宅福祉総合推進事業

(1) 障害者ガイドヘルパー派遣事業（市受託事業）

市内に居住する視覚障害1・2級及び下肢・体幹障害1・2級で車いすでなければ移動できない障がい者のうち、介護者がいない方に対し、登録しているガイドヘルパーを派遣しました。

公的機関や医療機関などへの外出が困難な時に、ガイドヘルパーを派遣することにより社会生活圏を拡大し、障がい者福祉の増進を図りました。

〈派遣状況〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
ガイドヘルパー数(人)	34	35	38	35	35	100.0
派遣申請登録者数(人)	122	95	98	103	105	101.9
派遣時間(時間)	3,698	3,534	3,009	2,709	1,977	73.0
障害状況別派遣回数(回)	998	918	837	736	535	72.7
視覚	998	918	837	736	535	72.7
車イス	0	0	0	0	0	—

(2) 在宅支援家事サービス事業「ほほえみサービス」

越谷市在住で高齢や病気・けが・産前産後などで日常生活に支障のある世帯等に家事支援サービスを有料で行いました。また、地域や家庭で安心して生活できるよう関係機関との連携を図り、掃除、調理、洗濯等のほか、話し相手、布団干し、草取り等のニーズの対応に努めました。

また、平成29年(2017年)10月から「越谷市介護予防・日常生活支援総合事業住民主体サービス(訪問型サービスB)」の団体として、越谷市に登録し、引き続きサービスを提供しました。

〈実施状況〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
ほほえみスタッフ数(人)	83	86	83	90	58	64.4
		55	62	69	43	62.3
利用申請登録者数(人)	74	90	75	75	79	105.3
		5	7	8	17	212.5
利用時間(時間)	2,404	3,194	3,220	3,032	1,830	60.4
		38	69	187	211	112.8
利用回数(回)	1,625	2,169	2,067	2,032	1,348	66.3
		33	69	171	178	104.1

※ 上段はほほえみサービス全体の実施状況、下段はほほえみサービス全体のうちサービスBの実施状況となります。

※ 平成28年度(2016年度)、平成30年度(2018年度)、令和2年度(2020年度)にほほえみスタッフ登録者の活動意向を確認し、登録名簿の整理を行いました。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、4月中旬から6月末まで活動を中止しました。

(3) 在宅認知症高齢者等支援事業

「喜左衛門」は、制度の狭間におかれて援助を必要とする方々や要介護及び要支援状態にある高齢者を対象に、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、利用者の立場に立ったサービスを提供しました。

① サービス内容

- お住まいと同様の家庭的な雰囲気の中での日帰り預かりサービス
- スタッフが手作りで料理する温かい食事サービス
- 家の中まで送り届ける送迎サービス
- 入浴介助により一人ずつ入浴する入浴サービス

② 利用日及び利用時間

- ア 利用日 月曜日～土曜日
- イ 休日 日曜日及び年末年始
- ウ 時間 午前9時15分～午後4時15分

③ 利用料金

- 基本料金 1日 1,500円
- 送迎代 片道 250円
- 食費 1食 700円 (おやつ代含む)
- 入浴 1回 500円
- レクリエーション費 月額 500円

〈延べ利用者数〉

(単位：人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
利用	0	0	13	18	6	33.3

7 介護事業

(1) 介護保険事業

① 介護支援事業

指定居宅介護支援事業所「こしがや社協」では、4名の介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護状態にある利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、これに基づきサービスの実施状況の把握（モニタリング）等日常生活全般に対する介護支援を行いました。

また、越谷市等から昨年度に引き続き「要介護認定調査」を受託し、6件の認定訪問調査を実施しました。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、サービス実施状況の把握(モニタリング)のための訪問やサービス担当者会議について、対面でなく電話による照会など、弾力的に実施しました。

介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質の向上にあたっては、定期的（毎週1回）に会議を行い事例検討や業務改善のための勉強会を事業所内研修として実施し、また他機関が実施する研修会に積極的に参加しました。

令和2年度(2020年度)も引き続き、主任介護支援専門員を配置し、支援困難ケースの対応など「モデル的」な事業所を評価する観点から設けられた特定事業所加算Ⅱの要件を満たし、質の高いケアマネジメントの提供及び安定的な経営に努めました。

〈利用者数及び請求額等（当初請求時）〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
延利用者数（人）	1,532	1,572	1,625	1,561	1,511	96.8
要介護度別延利用者数（人）						
要介護 1	589	589	566	565	526	93.1
要介護 2	400	388	447	436	428	98.2
要介護 3	267	297	356	310	264	85.2
要介護 4	172	165	159	175	181	103.4
要介護 5	104	133	97	75	112	149.3
請求総額（円）	25,016,781	25,856,242	26,910,138	25,746,954	24,996,889	97.1
延スタッフ数(人)	48	49	48	48	48	100.0

〈要介護度別利用者の構成比率〉

（単位：％）

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
要介護 1	38.5	37.5	34.8	36.2	34.8
要介護 2	26.1	24.7	27.5	27.9	28.3
要介護 3	17.4	18.9	21.9	19.9	17.5
要介護 4	11.2	10.5	9.8	11.2	12.0
要介護 5	6.8	8.4	6.0	4.8	7.4

〈要介護認定調査委託業務の実績〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
件 数 (件)	42	47	52	58	6	10.3
委託料・手数 (円)	181,440	203,040	224,640	252,100	26,400	10.5

② 訪問介護事業

指定居宅サービス事業所「こしがや社協」では、介護保険法に基づく訪問介護員（ホームヘルパー）が、在宅の要介護状態にある利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護（入浴・排泄・食事・通院等の介助）と生活援助（掃除・洗濯・買物・調理等）の訪問介護サービスを提供しました。また、越谷市介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援状態にある高齢者等に対し、自力では困難な行為等について、訪問介護サービスを提供しました。

ヘルパーの資質の向上にあたっては、サービス提供責任者会議やヘルパー全体会議等を定期的（月 1 回以上）に行い、事例検討やケアカンファレンス等業務改善のための勉強会を事業所内研修として実施するとともに、他機関が実施する研修会にも参加し、サービス提供の向上に努めました。

なお、令和 2 年度(2020年度)は、コロナ禍での介護サービスの提供が途切れないうよう、感染防止対策を講じながらサービスの継続に努めました。

令和 2 年度(2020年度)も引き続き、ヘルパーの質の確保や活動環境の整備、中重度者への対応を行う優良事業所を評価する観点から設けられた、特定事業所加算Ⅰの要件を満たし、質の高いサービスの提供及び安定的な経営に努めました。また、介護職員処遇改善加算の届出を行い、引き続き介護職員の賃金改善を行いました。

〈利用者数及び請求額等（当初請求時）〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
延べ利用者数 (人)	735	704	680	586	533	91.0
要介護度別延べ利用者数 (人)						
予防 (人)	要支援 1	8	—	—	—	—
	要支援 2	42	—	—	—	—
介護 (人)	要介護 1	250	246	218	207	94.2
	要介護 2	133	112	143	132	75.0
	要介護 3	92	110	108	77	75.4
	要介護 4	67	39	64	42	57.1
	要介護 5	62	72	71	61	95.1
総合 (人)	要支援 1	40	48	39	30	73.3
	要支援 2	41	77	37	37	145.9
予防請求額 (円)	1,026,620	—	—	—	—	—
介護請求額 (円)	40,656,049	35,593,615	37,416,699	31,073,974	26,958,205	86.8
総合請求額 (円)	1,567,104	2,492,962	1,347,595	1,283,414	1,362,617	106.2

請求総額(円)	43,249,773	38,086,577	38,764,294	32,357,388	28,320,822	87.5
延べスタッフ数(人)	531	495	491	443	450	101.6

〈要介護度別利用者の構成比率〉

(単位：%)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予防	要支援1	1.1	—	—	—	—
	要支援2	5.7	—	—	—	—
介護	要介護1	34.0	35.0	32.1	35.3	36.6
	要介護2	18.1	15.9	21.0	22.5	18.6
	要介護3	12.5	15.6	15.9	13.2	14.1
	要介護4	9.1	5.6	9.4	7.2	4.5
	要介護5	8.4	10.2	10.5	10.4	10.9
総合	要支援1	5.5	6.8	5.7	5.1	5.2
	要支援2	5.6	10.9	5.4	6.3	10.1

〈提供延べ回数・時間(当初請求時)〉

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
予防	提供延回数(回)	314	—	—	—	—	—
	提供延時間(時間)	316	—	—	—	—	—
介護	提供延回数(回)	9,345	8,227	8,502	6,902	5,834	84.5
	提供延時間(時間)	9,910.3	8,360.8	8,803.1	7,274.3	6,354.8	87.4
総合	提供延回数(回)	478	762	425	381	411	107.9
	提供延時間(時間)	510	798.5	446.5	382.5	441	115.3
内容(時)	身体介護	4,796.3	4,303	4,618.8	3,969.6	3,487.2	87.8
	生活援助	5,114	4,057.8	4,184.3	3,304.7	2,867.6	86.8

③ 通所介護事業

指定地域密着型通所介護事業所「喜左衛門」は、要介護状態にある高齢者に対し、適正な介護サービスを提供しました。また、越谷市介護予防・日常生活支援総合事業として、要支援状態にある高齢者等に対し、生活の質の向上に資するサービスを提供しました。

なお、令和2年度(2020年度)は、コロナ禍での介護サービスの提供が途切れないうち、感染防止対策を講じながらサービスの継続に努めました。

〈通所介護事業(喜左衛門 要介護度別延べ利用者数及び請求額)〉

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)	
延べ利用者数(人)		296	232	275	302	223	73.8	
要介護度別延利用者数(人)								
予防(人)	要支援1	15	—	—	—	—	—	
	要支援2	6	—	—	—	—	—	

介護 (人)	要介護 1	70	49	96	111	62	55.9
	要介護 2	78	47	47	52	50	96.2
	要介護 3	38	39	38	78	46	59.0
	要介護 4	27	19	22	18	21	116.7
	要介護 5	12	14	12	0	8	—
総合 (人)	要支援 1	28	29	18	8	0	—
	要支援 2	22	35	42	35	36	102.9
予防請求額 (円)		573,779	—	—	—	—	—
介護請求額 (円)		25,361,264	20,047,602	22,181,005	24,286,954	17,082,025	70.3
総合請求額 (円)		1,509,304	2,088,702	2,276,102	1,728,455	1,590,507	92.0
請求総額 (円)		27,444,347	22,136,304	24,457,107	26,015,409	18,672,532	71.8
延べスタッフ数 (人)		194	200	194	182	180	98.9

〈要介護度別利用者の構成比率〉 (単位：%)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
予 防	要支援 1	5.1	—	—	—	—
	要支援 2	2.0	—	—	—	—
介 護	要介護 1	23.6	21.1	34.9	36.8	27.8
	要介護 2	26.4	20.3	17.1	17.2	22.4
	要介護 3	12.8	16.8	13.8	25.8	20.6
	要介護 4	9.1	8.2	8.0	6.0	9.4
	要介護 5	4.1	6.0	4.4	—	3.6
総 合	要支援 1	9.5	12.5	6.5	2.6	0
	要支援 2	7.4	15.1	15.3	11.6	16.2

ア 運営推進会議の開催

利用者、利用者の家族、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

○喜左衛門

回	期日	内容
1	9月下旬 ※	—
2	3月下旬 ※	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止 (資料のみ配付)

(2) 障害者総合支援事業

○居宅介護事業・重度訪問介護・同行援護

指定居宅介護事業所「こしがや社協」では、平成25年(2013年)4月から施行された障害者総合支援法に基づき、在宅の障がい児者に対し、居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーが身体介護(入浴・排泄・食事・通院等の介助)、家事援助(掃除・洗濯・買物・調理等)の居宅サービスを提供しました。また、重度の肢体不自由で常時介護が必要な方に対し、在宅で行われる入浴・排泄・食事の介護等と、外出時の移動中の介護を総合的に提供しました。さらに、重度の視覚障がい者に対しては移動時の情報提供に加え、目的地等での代読・代筆等の支援を行いました。

令和2年度(2020年度)も引き続き、ヘルパーの質の確保や活動環境の整備等を行っている優良事業所を評価する観点から設けられた、特定事業所加算Ⅱの要件を満たし、質の高いサービスの提供及び安定的な経営に努めました。また、介護職員処遇改善加算の届出を行い、引き続き介護職員の賃金改善を行いました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額(当初請求時)〉

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
居宅介護	延べ利用者数(人)	767	769	729	659	654	99.2
	提供時間(時間)	13,780.5	16,158	14,420	13,163	11,834	89.9
重度訪問 介 護	延べ利用者数(人)	44	16	18	18	13	72.2
	提供時間(時間)	2,581.5	559	372	353	299	84.7
同行援護	延べ利用者数(人)	239	255	264	259	235	90.7
	提供時間(時間)	2,311.7	2,847	3,051	2,900	2,431	83.8
合 計	延べ利用者数(人)	1,050	1,040	1,011	936	902	96.4
	提供時間(時間)	18,673.7	19,564	17,843	16,416	14,564	88.7
請 求 総 額 (円)		63,699,739	77,007,555	71,445,864	66,969,150	59,699,621	89.1

(3) 地域生活支援事業

○移動支援事業

指定居宅介護事業所「こしがや社協」では、平成25年(2013年)4月から施行された障害者総合支援法の中の、市町村の創意工夫により、利用者の方々の状況に応じて、柔軟に実施できる「地域生活支援事業」として、社会生活上必要不可欠及び、余暇活動等の社会参加のための移動を支援しました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額(当初請求時)〉

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
身体介護 を伴う	延べ利用者数(人)	70	74	75	50	63	126.0
	提供時間(時間)	727.5	702.5	526.5	260	314	120.8
身体介護を 伴わない	延べ利用者数(人)	38	24	23	16	7	43.8
	提供時間(時間)	453.5	352.5	235	133	47.5	35.7
合 計	延べ利用者数(人)	108	98	98	66	70	106.1
	提供時間(時間)	1,181	1,055	761.5	393	361.5	92.0
請 求 総 額 (円)		3,042,742	2,815,491	2,246,248	1,244,574	1,190,472	95.7

(4) 在宅自立支援訪問介護事業

日常生活を営む上で支障がある方やその方を支えるご家族に対して、住み慣れた地域や家庭でその人らしい生活を安心して継続できるように支援し、ご利用者の尊厳の保持と自立支援の促進を図ることを目的に訪問介護サービスを提供しました。

〈提供延べ利用者数・時間及び請求額（当初請求時）〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
延べ利用者数(人)	56	62	64	35	28	80.0
提供時間(時間)	738.5	914	679.5	194	155	79.9
請求総額(円)	1,397,087	1,765,962	1,325,554	408,540	316,735	77.5

8 老人福祉センター事業（指定管理事業）

老人福祉センターけやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘は、各種相談事業や共同事業体であるシンコースポーツ株式会社が有する専門的な見地を生かした健康増進関連事業をはじめ、娯楽や趣味、教養を高める学習機会や場所の提供を行い、高齢者の方々がいきいきと自立した生活を送ることができるよう支援しました。

令和2年度(2020年度)における4センターの総利用者数は105,177人で、1日平均638人にご利用いただきました。また、新規利用者として185人に使用者証を発行しました。

老人福祉センターを拠点に活動しているクラブ数は、4センターで132クラブ、会員数は2,046人となっており、クラブ活動の充実が図られています。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)2月28日(金)から6月14日(日)(ゆりのき荘は、15日(月))までの期間と12月26日(土)から令和3年(2021年)3月21日(日)(ゆりのき荘は、22日(月))までの期間が臨時休館となったほか、ゆりのき荘は、破損した排水管修繕のため令和2年(2020年)9月30日(水)から11月3日(火)までの期間が臨時休館となりました。

(1) 管理運営

指定管理者(平成18年(2006年)4月～)として、各老人福祉センターを利用する方々が安全で快適にご利用して頂くために、毎月4センターによる調整会議を開催して、施設運営にあたっての課題等を検討・協議し、万全の体制で施設の管理・運営に努めました。

〈けやき荘〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)	
開館日数(日)	294	290	292	263	169	64.3	
総利用者数(人)	88,418	81,238	77,867	66,200	25,158	38.0	
利区 用分	団体利用(人)	5,577	5,414	6,315	5,539	250	4.5
	個人利用(人)	82,841	75,824	71,552	60,661	24,908	41.1
1日平均利用者数(人)	301	280	266	252	149	59.1	
総見学者数(人)	145	129	151	101	9	8.9	
使用者証発行数(人)	168	136	136	122	28	23.0	
ク ラ ブ 数(クラブ)	29	29	28	27	27	100.0	
クラブ会員数(人)	656	625	559	502	475	94.6	

〈くすのき荘〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)	
開館日数(日)	293	289	292	261	169	64.8	
総利用者数(人)	96,321	85,311	88,845	75,857	30,883	40.7	
利区 用分	団体利用(人)	17,935	16,039	16,773	14,194	4,653	32.8
	個人利用(人)	78,386	69,272	72,072	61,663	26,230	42.5
1日平均利用者数(人)	329	295	304	291	183	62.9	

総見学者数(人)	84	346	360	292	167	57.2
使用者証発行数(人)	267	269	230	194	60	30.9
クラブ数(クラブ)	77	76	76	73	68	93.2
クラブ会員数(人)	1,460	1,359	1,315	1,248	989	79.2

〈ゆりのき荘〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
開館日数(日)	307	308	298	280	144	51.4
総利用者数(人)	88,622	90,838	84,039	72,264	19,754	27.3
利区 用分	団体利用(人)	6,434	5,516	5,965	939	18.2
	個人利用(人)	82,188	85,322	78,074	67,100	28.0
1日平均利用者数(人)	289	295	282	258	137	53.1
総見学者数(人)	298	264	250	173	15	8.7
使用者証発行数(人)	284	295	287	207	50	24.2
クラブ数(クラブ)	31	29	31	31	29	93.5
クラブ会員数(人)	575	515	531	518	471	90.9

〈ひのき荘〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
開館日数(日)	308	308	308	280	174	62.1
総利用者数(人)	80,101	83,307	85,934	81,039	29,382	36.3
利区 用分	団体利用(人)	3,978	5,101	7,561	2,242	35.0
	個人利用(人)	76,123	78,206	78,373	74,625	27,140
1日平均利用者数(人)	260	270	279	289	169	58.5
総見学者数(人)	315	142	108	105	21	20.0
使用者証発行数(人)	419	202	198	180	47	26.1
クラブ数(クラブ)	6	7	7	8	8	100.0
クラブ会員数(人)	109	115	119	116	111	95.7

(2) 運営事業

① 各種相談事業

高齢社会が抱える、高齢者の生活や健康の不安等の諸問題に対して、相談を行い、高齢者が心身ともに健康で安心した日々を過ごすことができるよう、実施しました。

〈けやき荘〉

(単位:件)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	7,875	7,780	6,864	5,486	3,116	56.8
リハビリなんでも相談	23	18	17	9	2	22.2

〈くすのき荘〉

(単位:件)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	4,607	3,813	3,322	3,725	1,869	50.2

リハビリなんでも相談	12	13	11	9	4	44.4
------------	----	----	----	---	---	------

〈ゆりのき荘〉

(単位：件)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	3,240	3,975	4,874	4,576	1,503	32.8
リハビリなんでも相談	38	47	40	40	7	17.5

〈ひのき荘〉

(単位：件)

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
生活・健康相談	4,386	3,903	4,358	3,835	1,802	47.0
リハビリなんでも相談	18	15	17	9	3	33.3

② 健康増進に関する指導

高齢者の健康に対する意識を高め、健康維持と増進、予防を図るため、専門職による健康に関する講座を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

〈けやき荘〉

○健康管理・啓発事業

(単位：人)

期 日	事業名	参加者数
1月下旬～3月中旬 ※	リハビリ専門職による健康教室	—

○体力保持・増進事業

(単位：人)

期 日	事業名	参加者数
10月15日～22日	初心者ウォーキング講習会	延べ 11
6月上旬～7月上旬 ※	ゆっくりサーキットトレーニング講習会(1期)	—
11月中旬～12月中旬 ※	ゆっくりサーキットトレーニング講習会(2期)	—
11月下旬～12月下旬 ※	ストレス解消！けいらくビクス教室	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈くすのき荘〉

○健康管理・啓発事業

(単位：人)

期 日	事業名	参加者数
10月初旬 ※	健康づくり講座(リハビリ専門職による健康教室)	—
12月下旬 ※	健康づくり講座(リハビリ専門職による健康教室)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

○体力保持・増進事業

(単位：人)

期 日	事業名	参加者数
5月下旬 ※	ウォーキング講座	—
5月下旬～7月中旬 ※	体力づくり講習会(前期)	—
6月初旬～6月下旬 ※	いきいき元気スポーツ教室	—
9月初旬～10月初旬 ※	介護予防体操教室	—
10月初旬～10月中旬 ※	いきいき元気スポーツ教室	—
2月初旬～3月中旬 ※	体力づくり講習会(後期)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ゆりのき荘〉

○健康管理・啓発事業

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
1月～ 2月 (全5回) ※	ゆりのき健康寿命延伸講座	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

○体力保持・増進事業

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
9月～12月 (全5回) ※	筋力アップ! 貯筋体操	—
9月～12月 (全5回) ※	介護予防ガンバルーン体操教室	—
12月～ 1月 (全5回) ※	体力づくり講習会 (前期)	—
1月～ 2月 (全5回) ※	体力づくり講習会 (後期)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ひのき荘〉

○健康管理・啓発事業

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
毎週木曜日 ※	健康教室	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

○体力保持・増進事業

ア 各種事業・教室

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
4月～6月 (全10回) ※	第1期ひのきスッキリ運動	—
7月中旬 ※	ひのき健康サロン (健康測定・軽運動等)	—
8月～9月 (全8回) ※	健康「柔」体操 (ロコモティブシンドローム予防)	—
9月～11月 (全10回) ※	第2期ひのきスッキリ運動	—
12月 (全5回) ※	男の運動教室	—
12月 (全4回) ※	いきいき元気スポーツ教室	—
1月～ 3月 (全10回) ※	第3期ひのきスッキリ運動	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ ラウンドフィットネス

5種類のマシンとステップ台を使用し、筋力運動と有酸素運動を交互に行うサーキットトレーニングにより利用者の健康増進、介護予防に取り組みました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、9月2日(水)から利用人数、利用時間等の制限を設けて利用を再開しました。

	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
総利用者数(人)	4,499	828	18.4
1日平均利用者数(人)	19.6	8.0	40.8
初回講習会の総利用者数(人)	399	34	8.5
総利用料(円)	899,800	165,600	18.4
総開館日数(日)	230	107	46.5

※ 令和元年(2019年)6月から開始

③ 生業及び就労に関する指導

関係機関と連携を図り、生業・就労に関する情報を提供できるよう、けやき荘・くすのき荘・ゆりのき荘・ひのき荘の4館合同で、生きがい就労に繋がる本会における地域住民による助け合い活動についての講習会を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

会場	期 日	事 業 名	参加者数 (人)
ゆりのき荘	2月4日 ※	住民相互の助け合い有償活動講座	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

④ 機能回復訓練の実施

機能回復訓練室の各種機器を活用し、必要に応じて職員が指導する等、健康維持・増進に努めました。また、身体機能の維持・向上を図り高齢者の介護予防・自立支援を行うことを目的に、専門職(市保健センター理学療法士・作業療法士)による「リハビリなんでも相談」を実施しました。

⑤ 教養講座の実施

高齢者の教養を高め、学習、趣味を通じ多くの仲間とふれあい、地域社会に積極的に参加し、明るく張りのある自立した生活が送れるよう事業を実施しました。

〈けやき荘〉

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月下旬～ 7月下旬 ※	前期けやきスクール	—
7月18日	第1回消防訓練	12
7月中旬 ※	終活セミナー ～エンディングへの備え～	—
9月全般 ※	ハーバリウム作り講習会	—
9月14日～28日	令和元年度後期けやきスクール(延期分) ※前年度の途中で中止となり、残りの教室を再開したものです。	延べ 20
10月中旬～12月中旬 ※	中期けやきスクール	—
11月 6日	第2回消防訓練	35
11月24日	プリザーブドフラワー作り講習会	10
12月 8日	プリザーブドフラワー作り講習会	8
12月22日	プリザーブドフラワー作り講習会	5
11月26日～12月10日	スッキリ片づけ人生術	延べ 20
1月下旬～ 3月中旬 ※	後期けやきスクール	—
2月19日 ※	認知症サポーター養成講座	—
3月19日 ※	防犯講座	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈くすのき荘〉

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月15日 ※	料理講習会	—
5月下旬 ※	健康音楽講座	—
5月下旬～ 7月初旬 ※	前期くすのきスクール	—
9月25日	布ぞうり講習会	8
10月 5日	人物歴史講座	20
10月初旬～12月中旬 ※	中期くすのきスクール	—
10月初旬 ※	防犯講習会	—
10月中旬 ※	ふるさと歴史散策	—
11月16日	第1回消防訓練	7
11月下旬 ※	パソコン講座 (年賀状作り・カレンダー作り)	—
11月30日	出張スマホ講座	19
12月 9日	法律講座「成年後見制度について」	16
12月中旬 ※	年越しそば打ち講習会	—
1月中旬～ 3月初旬 ※	後期くすのきスクール	—
2月 1日 ※	認知症サポーター養成講座	—
1月下旬 ※	パソコン講座 (インターネット)	—
2月初旬 ※	リサイクル講座	—
2月16日 ※	布ぞうり講習会	—
3月18日	第2回消防訓練	4

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ゆりのき荘〉

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
4月～1月 (年4回) ※	ゆりのき四季の料理教室	—
5月～ 7月 ※	前期ゆりのきスクール	—
6月29日	第1回消防訓練	16
7月 ※	布ぞうり講習会 Aコース	—
8月 ※	布ぞうり講習会 Bコース	—
9月 1日～30日	俳句・川柳大募集	22
10月～12月 ※	後期ゆりのきスクール	—
10月22日	第2回消防訓練	21
11月20日	認知症サポーター養成講座	5

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ひのき荘〉

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
8月28日～9月26日	令和元年度後期ひのきスクール ※前年度の途中で中止となり、残りの教室を再開したものです。	延べ 69
10月20日	第1回消防訓練 (避難経路・初期消火) ※職員だけで実施	15

11月6日	ぶらり歴史散策	5
11月18日	防犯講習会	15
11月26日～12月24日	アクティブシニア応援講座	延べ51
12月5日	布ぞうり作り講習会	9
2月17日	第2回消防訓練(避難経路・消火器確認) ※職員だけで実施	3
5月下旬 ※	第1回料理教室	—
5月下旬～6月下旬 ※	前期ひのきスクール	—
7月上旬 ※	第1回お菓子作り教室(A)	—
	第1回お菓子作り教室(B)	—
9月下旬 ※	第1回パン作り教室(A)	—
	第1回パン作り教室(B)	—
10月上旬 ※	第2回料理教室	—
11月下旬 ※	第2回パン作り教室(A)	—
11月下旬 ※	第2回パン作り教室(B)	—
12月上旬 ※	第2回お菓子作り教室(A)	—
	第2回お菓子作り教室(B)	—
2月上旬～3月中旬 ※	リメイク教室	—
2月中旬～3月下旬 ※	後期ひのきスクール	—
2月下旬 ※	第3回パン作り教室(A)	—
	第3回パン作り教室(B)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

⑥ 文化・スポーツ・レクリエーション事業の実施

高齢者の健康増進を図るとともに、スポーツ・レクリエーション等を通じて多くの仲間とふれあい、地域社会に積極的に参加し、明るく張りのある自立した生活が送れるよう事業を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

〈けやき荘〉

(単位：人)

期 日	事業名	参加者数
5月中旬 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
6月中旬 ※	ウェルカム! けやき荘 みんなで歌おう♪	—
7月11日 ※	歌声ひろば～夏編～	—
7月上旬 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
9月中旬 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
9月中旬 ※	ウェルカム! けやき荘 みんなで歌おう♪	—
9月26日 ※	けやき寄席	—
11月中旬 ※	カラオケでゾロ目にチャレンジ!	—
12月4日 ※	囲碁・将棋大会	—
12月12日 ※	歌声ひろば～冬編～	—
1月9日 ※	けやき寄席	—

1月中旬 ※	カラオケでゼロ目にチャレンジ!	—
2月中旬 ※	ウェルカム! けやき荘 冬のコンサート♪	—
2月26日～27日 ※	けやき祭 (クラブ発表会)	—
3月中旬 ※	カラオケでゼロ目にチャレンジ!	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止
 (くすのき荘)

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
5月初旬 ※	ミニコンサート (ハワイアン演奏とフラダンス)	—
10月初旬 ※	ミニコンサート (ジャズコンサート)	—
10月下旬 ※	くすのき祭 (クラブ発表会)	—
12月初旬 ※	くすのき荘カラオケ大会	—
12月下旬 ※	ミニコンサート (吹奏楽演奏)	—
3月下旬 ※	ミニコンサート (消防音楽隊コンサート)	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止
 (ゆりのき荘)

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
毎月第3土曜日 ※	ふれあいデーゆるスポーツ交流会	—
5月～ 9月(全10回) ※	はじめてのピラティス教室 (前期)	—
6月～ 3月 (年4回) ※	ロビーコンサート	—
10月 ※	ゆりのき祭 (クラブ発表会)	—
10月～ 2月(全10回) ※	はじめてのピラティス教室 (後期)	—
11月 ※	ゆりのき紅白歌合戦	—
11月～12月 (全5回) ※	トレッキング (山歩き) トレーニング	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止
 (ひのき荘)

(単位：人)

期 日	事 業 名	参加者数
毎月第1土曜日 ※	歌の広場ペルテ	—
6月21日 ※	消防音楽隊演奏会	—
8月上旬 ※	ハワイアンコンサート	—
8月中旬 ※	獨協埼玉中学高等学校吹奏楽部演奏会	—
10月18日 ※	川柳地区文化祭	—
12月上旬 ※	近隣中学校吹奏楽部演奏会	—
2月上旬 ※	獨協埼玉中学校吹奏楽部演奏会	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

⑦ 老人クラブに対する援助等

けやき荘は、越谷市老人クラブ連合会の事務局として、越谷市と連携して、老人クラブの普及発展並びに相互の連絡協調を図り、高齢者の生きがいの創造と福祉の発展に資するため支援しました。

また、各単位クラブや、埼玉県老人クラブ連合会等の関係機関との連絡調整を図り、円滑な組織運営並びに活動の支援をしました。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
クラブ数(クラブ)	98	93	93	91	90	98.9
会 員 数(人)	4,956	4,709	4,637	4,426	4,313	97.4
1クラブ平均会員数(人)	51	51	50	49	48	98.0
60歳以上の人口(人)	99,807	100,732	101,739	102,740	103,616	100.9
加 入 率(%)	5.0	4.7	4.6	4.3	4.2	97.7

※ 60歳以上の人口及び加入率については、各年度の4月1日現在

⑧ その他

ア 利用者懇談会

各施設機能や環境が活かされた施設運営を更に充実させるため、施設の利用者と懇談会を開催しました。

	期日	内容
けやき荘	6月下旬 ※	中止
くすのき荘	3月30日(火)	令和3年度主催事業について 令和3年度くすのき祭について
ゆりのき荘	3月 ※	運営事業について 管理運営について
ひのき荘	3月上旬 ※	管理運営について

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ 老人福祉センター運営協議会

利用者である委員皆さまからのご意見やご提言を反映させた施設となるよう、老人福祉センターの管理運営について報告をするとともに、より良い施設に向けてご協議をいただきました。

回	期日	会場	内容
1	10月7日(水)	中央市民会館4階 第13・14会議室	令和元年度管理運営について 令和元年度事業報告について 令和2年度事業計画について 令和元年度利用者の要望について 新型コロナウイルス感染拡大防止対策と対応について

ウ ふれあいデー

高齢者が、世代間の交流や、家族とのふれあいを通じて、健康で明るい社会生活を営むとともに、地域との交流を図り、高齢者福祉に対する市民の意識を高めることを目的に「ふれあいデー(一般開放日)」を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

(けやき荘)

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数
毎月隔週土曜日 ※	オセロ、輪投げ、バンパーなど	—
3月第1日曜日 ※	オセロ、輪投げ、バンパー、健康マラソン祭(市主催)	—

3月隔週土曜日 ※	オセロ、輪投げ、バンパー	—
-----------	--------------	---

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈くすのき荘〉

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数
毎月隔週日曜日 ※	映画、卓球・ビリヤードなど	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ゆりのき荘〉

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数
毎月第3土曜日 ※	卓球、昔の遊び、おり紙教室など	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

〈ひのき荘〉

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数
毎週日曜日 ※	毎週日曜 卓球 第3日曜 お手玉教室 第4日曜 おりがみ教室	—

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

9 障がい者支援事業

(1) 障害者福祉センターこぼと館（指定管理事業）

越谷市障害者福祉センター「こぼと館」は、平成4年(1992年)4月に身体障害者福祉センター（B型）として設置され、同時に管理運営を受託しました。

平成15年度(2003年度)から支援費制度、平成18年(2006年)10月からは障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の「経過的デイサービス事業」としてサービスを提供しました。

また、平成18年度(2006年度)からは指定管理施設として、在宅障がい者のデイサービス事業を中心に、障がい（者）に関する相談援助や各種講習会を実施するとともに、障がい者団体や障がい者支援ボランティア団体、グループに対しても活動の場や交流の機会を総合的に提供し、地域においてともに暮らせるまちづくりを進める事業に取り組みました。

令和2年度(2020年度)の開館日数は290日、1日平均の団体・個人の利用者は、35人となり、開所した平成4年度(1992年度)からの総利用者数は495,702人となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)3月28日(土)から6月15日(月)までの期間と令和3年(2021年)1月8日(金)から3月22日(月)までの期間の貸館が休止となりました。

① 利用者数

(単位：人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
開館日数(日)	291	291	291	287	290	101.0
団体利用者数 ()は団体数	15,416 (855)	15,140 (882)	14,236 (853)	13,423 (814)	6,587 (672)	49.1 (82.6)
個人利用者数	6,363	6,055	6,796	5,628	3,417	60.7
総利用者数	21,804	21,249	21,083	19,112	10,054	52.6
1日平均利用者数	75	73	73	67	35	52.2
見学者数	25	54	51	61	50	82.0

② 各室利用状況

(単位：人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
社会適応訓練室	9,722	9,289	9,996	9,668	4,044	41.8
日常生活訓練室	6,302	6,647	5,908	4,880	2,895	59.3
作業室	2,639	2,340	2,484	2,550	1,244	48.8
相談室	930	934	982	904	589	65.2
団体室 3	1,639	1,514	1,168	1,026	1,139	111.0
*館外施設	572	525	545	84	143	170.2

合 計	21,804	21,249	21,083	19,112	10,054	52.6
-----	--------	--------	--------	--------	--------	------

注. *この区分は、こぼと館の施設以外で事業を行った際に適用

③ 各種事業

身体障害者福祉センター（B型）における事業として、障がい者の日常生活活動の向上を目的とした自立支援事業をはじめ、障がい者の社会参加を促進するための余暇支援事業などの各種事業を展開しました。今年度も障害者就労支援センターと共催で夜間エンジョイ広場を開催し、余暇支援の充実を図りました。

また、障がい者福祉ボランティアの育成として、手話奉仕員養成講習会（入門編、基礎編）を、コミュニケーション支援事業の担い手となる登録手話通訳者及び登録要約筆記者の育成として、手話通訳者養成講習会（Ⅰ、Ⅱ）及び要約筆記者養成講習会をそれぞれ実施しました。

区分	事業名	期間	回数 (回)	定員 (人)	受講者数 (人)	延受講者数 (人)
支援者育成	手話奉仕員養成講習会入門編	4/ 7～ 9/29	18	35	14	212
	手話奉仕員養成講習会基礎編	10/ 6～ 3/23	23	30	12	259
	手話通訳者養成講習会Ⅰ	6/27～ 3/13	40	15	9	351
	手話通訳者養成講習会Ⅱ	6/27～ 2/ 6	35	15	5	263
	要約筆記者養成講習会	6/19～ 1/29	30	15	7	274
	障がい者福祉ボランティア講座	3/16	1	20	6	6
自立支援	あいあい茶ろん	4/21～ 3/16	16	15	10	106
	生活リハビリ教室	4/10～ 3/12	40	10	6	145
	遊友	4/ 8～ 3/17	42	15	5	197
	日曜遊友	4/12～ 3/14	12	15	15	159
	青年クラブA ※	4/19～ 3/ 7	5	20	28	118
	青年クラブB ※	4/19～ 3/ 7	5	20	27	125
余暇支援	絵画教室（水曜コース）※	4/15～ 3/17	18	8	5	82
	絵画教室（木曜コース）※	4/ 9～ 3/25	16	8	8	147
	さをり織り教室（前期）※	4/17～ 9/ 4	7	5	4	25
	さをり織り教室（後期）	10/ 2～ 3/ 5	10	5	4	43
	コミュニティ音楽広場	8/ 9・12/13	2	15	*28	67
	夜間エンジョイ広場 ※	4/10～ 3/12	9	15	*9	82
	視覚障がい者エンジョイ教室※	4/23～ 2/25	5	10	*6	42
	館外研修	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止				
その他	コミュニティ広場こぼと	4/ 5～ 2/ 7	11	15	*14	162
	スポーツ講習会 ※	4/16～ 3/18	7	15	*6	48
	こぼと館文化祭（作品展）	3/10～ 3/14	1	—	—	143

注. *印の数字は、毎回参加者が違うため総受講者の平均値を表記しました。

※ 4月19日、5月17日の青年クラブA・B、4月9日、15日、23日、5月14日、20日、28日の絵画教室（水曜・木曜コース）、4月17日、5月1日、15日のさをり織り教室（前期）、4月10日、5月8日、6月12日の夜間エンジョイ広場、4月23日の視覚障がい者エンジョイ

教室、4月16日、5月21日、1月21日、2月18日、3月18日のスポーツ講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

④ 障がい者関係団体等の利用状況

〈障がい者団体〉

区分	登録団体名	利用回数(回)	延利用人数(人)	内 容
障がい者団体	越谷市身体障害者福祉会	—	—	役員会
	越谷市手をつなぐ育成会	—	—	会議
	越谷市視覚障がい者福祉会あすなろ会	—	—	会議
	越谷市聴覚障害者協会	15	121	会議、ろう者の集い
	わらじの会	1	10	会議
	ダウン症児を持つ親の会「ポニークラブ」	1	5	会議
	越谷市精神障害者を守る会やまびこ家族会	7	28	会議
	ポーター越谷	—	—	療育相談
	とにかく話そう会	—	—	精神障がい者の集い
	しゃけのこいくら会	—	—	会議
	誰もがぐらしやすいまちづくり実行委員会	4	21	会議
	特定非営利活動法人くおーれの風	14	145	会議
	ハンドと共に輝き活きる会	—	—	精神障がい者の集い
	あではで埼玉親の会	4	21	会議
	越谷いちごの会	3	14	会議
	自立訓練教室	6	43	訓練
	ハッピーベリー	—	—	会議
小 計 (A)		55	408	
ボランティア団体・グループ	越谷市ボランティア連絡会	12	77	
	〃 点字はなみずき	44	278	点字の勉強会
	〃 手話すみれ	16	180	手話の勉強会
	こだま文庫	24	110	朗読勉強会
	要約筆記いちご	8	73	要約筆記学習
	文教大学「なずなの会」	—	—	障がい児との交流、会議
	越谷市手話サークルよつば会	8	93	手話学習、役員会
	越谷点字サークル	20	102	点字学習、点訳ボランティア
	ダンデライオン	2	29	障がい児との交流、会議
	特定非営利活動法人青藍会	4	33	障がい児との交流
	就労移行こしがやネットワーク	3	51	会議
	歌の広場「ペルテ」	—	—	コーラス
	手づくりの会	9	76	手芸品制作
	あみもの	17	180	あみもの

	朗読ボランティア「さなえ」	6	80	朗読ボランティア
	小 計 (B)	173	1,362	
サークル	サークルこぼと	—	—	造形制作
	視覚パソコン	2	9	パソコン学習
	サークルレインボー	12	45	車イスダンスの練習
	こぼとオカリナサークル	19	241	オカリナ演奏の練習
	お絵かきいろいろの会	21	213	絵画教室
	S T T越谷	18	161	サウンドテーブルテニス
	こぼとハーモニカサークル	6	71	ハーモニカ演奏の練習
	コーラス虹	18	265	歌（コーラス）の練習
	さをり遊	14	38	さをり織り教室
	フォークダンスポルカ	9	54	フォークダンスの練習
	スポーツひかりの森	—	—	サウンドテーブルテニス
	マホラ・マハロ	1	4	フラダンスの練習
	ロービジョン友の会アリス	7	63	レクリエーション
	こぼとコロコロ	—	—	卓球バレーの練習
	ポップジャンプ	—	—	レクリエーション
桃の里スポーツサークル	—	—	レクリエーション	
	小 計 (C)	127	1,164	
	合 計 (A+B+C)	355	2,934	

⑤ 障害者の日記念事業 ふれあいの日

「心豊かな福祉のまちづくり」をテーマに、障がい者福祉に対する理解の促進を図り共に生きる地域社会の実現のため、市内の障がい者団体等で構成する実行委員会が中心となり、第40回「ふれあいの日」の開催を目指しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

また、第41回「ふれあいの日」の開催に向けた準備を進めました。

- 第40回の開催に向けた実行委員会 3回
- 第40回の開催に向けた総務部会 1回
- 第41回の開催に向けた代表者会議 1回

⑥ こぼと館連絡調整会議の実施

	期日	内容	参加団体数
1	7月16日(木)	こぼと館連絡調整会議参加団体及び代表者紹介 各団体からの事業紹介及び情報交換 こぼと館事業報告及び連絡事項等 特別講演「成年後見制度について」 利用者アンケートの報告・回答	19

2	11月26日(木)	こばと館連絡調整会議参加団体及び代表者紹介 各団体からの事業紹介及び情報交換 こばと館事業報告及び連絡事項等 特別講演「悪徳商法・詐欺について」	28
---	-----------	---	----

⑦ 障がい者福祉ボランティアの育成

- ア 手話講習会の実施、受講者、修了者へのサークル活動やボランティア活動への支援
- イ こばと館ボランティア講座の実施
 - ・期 日 令和3年(2021年)3月16日(火)
 - ・会 場 中央市民会館 社会適応訓練室
 - ・内 容 車いすの構造、体験、こばと号乗車
 - ・参加者 6人
- ウ 各種事業への協力・ボランティアの受入れ
(自立支援事業30人、余暇支援事業53人、その他の事業3人)
- エ 障がい者理解のための福祉教育の一環として、各種見学者の受入れ
(自立支援事業7人、余暇支援事業30人、その他の事業13人)

⑧ 地域住民に対する障がい者福祉の啓発

- ア 館外研修 視覚エンジョイ
令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。
- イ 館外研修
令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。
- ウ こばと館文化祭(作品展・あい♡愛コンサート)
各事業の参加者及び登録団体における創作活動や音楽活動などの成果を発表する場を供与することにより、創作意欲のより一層の向上と余暇活動の充実を図ることを目的に開催する。
また、一般市民に広く周知を図ることにより、こばと館の広報と障がい者の理解を深めていただくことを目的とする。
 - 作品展
 - ・期 日 令和3年(2021年)3月10日(水)から14日(日)まで
 - ・会 場 越谷市中央市民会館2階 市民ギャラリー
 - ・出展数 462点
 - ・来場者 143人
 - あい♡愛コンサート
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、あい♡愛コンサートの実施が中止となりました。
- エ こころのアート展(作品展)
イオンレイクタウンの協力のもと、障がい者や、障がい福祉に対する理解を図

ることを目的として、文化芸術活動に取り組んでいる障がい者が創作した作品展を行いました。

- ・期 日 令和2年(2020年)12月3日(木)から12月10日(木)まで
※障害者週間
- ・会 場 イオンレイクタウンmorri 1階 花の広場
- ・内 容 市内在住・在学の障がい児・者とその関係者が創作した作品展示
市内障害福祉サービス事業所等による生產品の販売訓練、出展作品の販売。
- ・出展数 164点(絵画60点、陶芸15点、書道14点、手芸6点、工作65点、その他4点)

⑨ 貸室、設備の提供

図書・ビデオ貸出し、自助具展示、印刷機利用の提供、こぼと館登録団体への団体室3のロッカー貸与、団体室3での活動支援(貸出し)等を行いました。

⑩ 通所介助業務

利用者の便宜を図るため、リフト付きワゴン車にて、自宅からこぼと館の送迎を56日、106回、延べ279人に行いました。

(2) コミュニケーション支援事業(市受託事業)

平成14年(2002年)10月から聴覚に障がいのある方の情報保障として実施してきた手話通訳者派遣事業は、要約筆記者の派遣と併せて事業が一本化され、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の「意志疎通支援事業」に位置付けられています。

当事業の派遣に際しては、派遣担当者2人がコーディネート業務を行い、登録手話通訳者14人と登録要約筆記者10人が手話通訳・要約筆記業務を行いました。内容については、主に「医療・保健に関すること」「福祉に関すること」「社会生活に関すること」等の場面に手話通訳者・要約筆記者の派遣を行いました。

また、研修会を実施することにより手話通訳者・要約筆記者の技術研鑽を図り、より専門性の高いサービス提供に努めました。

① 派遣申請、派遣状況

ア 派遣申請件数 1,075件

イ 延派遣人数(複数派遣を含む) 1,242人

(内訳 担当職員 169件、登録手話通訳・要約筆記者 1,073件)

ウ 延派遣時間 1,450時間55分

(内訳 手話通訳:1,100時間15分、要約筆記:350時間40分)

〈内容別手話通訳者・要約筆記者派遣人数〉 上段:手話 下段:要筆 (単位:人)

内 容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
1 医療・保健に関	495	443	519	526	600	114.1

	すること	36	92	165	113	102	90.2
2	権利保持・司法に関すること	15	12	12	7	34	485.7
		2	1	3	0	2	—
3	労働に関する こと	5	35	27	3	27	900.0
		0	19	22	2	5	250.0
4	教育・保育に関する こと	38	22	58	73	21	28.8
		5	8	4	14	0	—
5	公的機関での 手続き等	22	23	17	12	21	175.0
		1	1	5	3	3	100.0
6	冠婚葬祭	11	2	8	19	5	26.3
		2	0	0	0	0	—
7	財産保持に関する こと	9	39	43	9	9	100.0
		2	3	0	0	0	—
8	社会生活に関する こと	115	108	107	124	109	87.9
		15	9	12	4	7	175.0
9	文化・教養に関する こと	103	132	118	71	23	32.4
		80	104	130	91	9	10.0
10	福祉に関する こと	149	157	139	216	115	53.2
		162	163	162	214	150	70.1
合 計		962	973	1,048	1,060	964	90.9
		305	400	503	441	278	63.0

② コミュニケーション支援事業運営委員会

	期日	内容
1	10月中旬	上半期事業報告他
2	3月上旬	年間の事業報告他

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止（委員会開催に代え、資料のみ配布）

③ 登録手話通訳者認定試験審査会

	期日	内容
1	12月15日（火）	認定審査会の実施について、試験問題について
2	2月2日（水）	受験者の応募状況確認、予備審査、試験問題最終確認
3	2月27日（土）	認定試験実施、合否判定（受験者数9人 うち0人合格）

④ 登録要約筆記者認定試験審査会

	期日	内容
1	12月18日（金）	認定試験の実施について
2	2月5日（金）	受験者の応募状況確認、予備審査、試験問題最終確認
3	2月12日（金）	認定試験実施、合否判定（受験者数6人 うち3人合格）

⑤ 登録手話通訳者・要約筆記者向けの研修会・業務ミーティング

ア 研修会

	期日	内容	講師
1	10月 8日(木) 22日(木) 11月12日(木)	実技研修「要約筆記技術の強化」 手話通訳者・要約筆記者派遣事務所主催（登録要約筆記者対象）	特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会
2	10月31日(土) 11月 7日(土) 14日(土)	実技研修「聞き取り・読み取り通訳（翻訳）トレーニング」 手話通訳者・要約筆記者派遣事務所主催（登録手話通訳者対象）	担当職員
3	3月23日(土)	新規登録者対象オリエンテーション	担当職員

イ 業務ミーティング

	期日	内容
1	5月 9日(土)	※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により中止 (業務ミーティング開催に代え、資料のみ配布)
2	9月26日(土) 10月3日(土)	事務連絡及び報告、事例検討・ディスカッション他
3	1月 9日(土) 23日(土)	事務連絡及び報告、事例検討・ディスカッション他

⑥ 手話通訳者・要約筆記者の頸肩腕検診の実施

手話通訳者・要約筆記者の頸肩腕症候群予防のための検診を実施しました。

⑦ 聴覚障がい者対象教養講座

聴覚障がい者の方々が一般の講演会等に参加しにくい現状を踏まえて、教養講座として講演会を実施することにより、聴覚障がい者福祉に寄与することを目的として行いました。

ア 期日 令和2年(2020年)10月23日(金)・25日(日)

イ 内容 教養講座「ヨガ教室」

ウ 講師 菊地 博美 氏

エ 対象者 障害者手帳（聴覚障害1級～6級）所持者

オ 参加人数 17人

⑧ 要約筆記相談会

コミュニケーション支援事業における要約筆記者の派遣制度が十分に周知されていない現状を踏まえて、相談会を実施することにより、聴覚障がい者、特に難

聴者・中途失聴者の事業の理解の促進及び利用に繋げることを目的として行います。
 なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

⑨ 登録手話通訳者認定試験対策講座

ア 期 日 令和2年(2020年)11月21日(土)、12月5日(土)全2回
 イ 内 容 手話通訳実技・事例検討
 ウ 参加者 9人
 エ 協 力 越谷市聴覚障害者協会
 越谷市登録手話通訳者・要約筆記者班

⑩ 登録要約筆記者認定試験対策講座

ア 期 日 令和2年(2020年)11月27日(金)、12月11日(金)全2回
 イ 内 容 要約筆記実技・事例検討
 ウ 参加者 8人
 エ 協 力 越谷市登録手話通訳者・要約筆記者班

⑪ その他

ア 相談対応(138件/年)・電話代行(46件/年)
 聴覚障がい者の方からの相談や問い合わせに対応しました。また、電話を使用
 しての通訳(電話通訳)や日常的に情報収集が困難な聴覚障がい者の方々に情報
 提供を行いました。

〈相談内容〉

(単位:件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
1	電 話 通 訳	39	37	37	28	34	121.4
		6	8	10	10	2	20.0
2	他課所での相談通訳	1	0	1	0	1	—
		0	0	1	0	1	—
3	通 訳 申 請	73	54	49	30	31	103.3
		13	29	24	9	4	44.4
4	直 接 相 談	17	10	27	27	27	100.0
		2	22	7	10	5	50.0
5	その他(情報提供等)	64	51	38	31	32	103.2
		17	17	14	3	1	33.3
合 計		213	152	152	116	125	107.8
		38	76	56	32	13	40.6

※ 上段は手話通訳者派遣事業利用者、下段は要約筆記者派遣事業利用者からの相談件数

(3) 障害者就労訓練施設しらこぼと（指定管理事業）

平成23年(2011年)4月から指定管理者として、障がい者の就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行い、障がい者が地域で働き、自立し、安心して暮らしていけるよう、地域住民との交流を図りながら、生活に関する相談を行いました。

また、障害者総合支援法に基づく事業所として、「就労移行支援事業」や「就労継続支援事業」を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)3月28日(土)から6月14日(日)までの期間と令和3年(2021年)1月8日(金)から3月21日(日)までの期間の貸館が休止となりました。

① 施設管理

指定管理者として、施設の管理・運営を行いました。

〈ホール使用実績〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
使用件数(件)	118	154	136	136	71	52.2
延べ使用者数(人)	2,542	2,739	3,314	3,854	966	25.1

〈ふれあいコーナー使用実績〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
使用件数(件)	1,129	1,062	1,222	1,263	1,047	82.9
延べ使用者数(人)	7,127	6,792	10,987	10,823	9,047	83.6

〈前庭等使用実績〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
使用件数(件)	48	2	2	9	7	77.8
延べ使用者数(人)	308	88	175	119	49	41.2

② 指定障害福祉サービス事業所「しらこぼと」

昭和55年(1980年)5月に開所した越谷市立しらこぼと職業センターの事業を「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所として、就労移行支援事業や就労継続支援事業を行いました。

ア 就労移行支援事業

一般企業への就労を希望する方に対し、一定期間を定め就労に必要な知識や技術の習得のための支援を行い、能力の向上を図りました。

主な支援内容

○施設内、外での実習による適応支援

○生活支援(挨拶、身だしなみ等)

○就職活動支援

○就業定着支援

就労先

- ・清掃 2人
- ・工場 1人

〈授産品収入合計〉

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
授産品(移行)	227,883	309,870	41,535	4,000	101,340	2533.5

〈工 賃〉

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
就労移行支援	227,866	309,728	41,535	4,000	101,340	2533.5

イ 就労継続支援事業B型

一般企業に就労することが困難な方などに、生産活動の場を提供するとともに、一般就労に向け必要な知識や能力の向上のための支援を行いました。

主な支援内容

○受注、内職（箱折り、ダルマの底付け、袋詰め作業等）

○パンやクッキーの生産販売

- ・市役所地下売店

- ・越谷市立老人福祉センター（くすのき荘、けやき荘、ゆりのき荘、ひのき荘）

- ・REUSE（リユース）

○農作物の生産販売

〈授産品・工房収入合計〉

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
授産品(B型)	3,463,295	3,179,621	3,457,760	3,520,734	3,209,508	91.1
しらこぼと工房	9,155,858	9,213,097	8,523,255	6,710,615	7,377,320	110.0
合 計	12,619,153	12,392,718	11,981,015	10,231,349	10,586,828	103.4

〈工 賃〉

(単位：円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
就労継続B型	6,907,578	6,864,476	6,814,637	5,874,499	6,046,040	102.9

平均工賃…工賃支払総額 6,046,040（円）÷支払総人数 604（人）＝10,010円（月額）

③ 障がい者の生活支援に関すること

ア 生活相談

市内の各種相談機関、サービス事業所等と連携し、市内在住の生活支援を必要とする障がい者とその家族に対し、障害福祉サービス等の利用援助、自立生活の支援や社会生活のアドバイスを行いました。

〈相談件数〉

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
相談件数（件）	693	1,093	1,646	2,051	2,396	116.8
延べ相談者数（人）	1,178	1,901	3,047	3,591	3,919	109.1

〈相談内容〉

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
日常生活	306	612	1,055	871	795	91.3
福祉制度利用相談	421	631	921	1,275	1,441	113.0
医療	16	12	86	80	34	42.5
家庭	60	38	26	27	31	114.8
仕事	16	138	24	39	110	282.1
経済	50	12	22	6	11	183.3
その他 (住居・対人関係・健康等)	93	60	38	55	66	120.0

④ 障がい者と地域住民との交流に関すること

ア しらこぼとマルシェ in イオンレイクタウン

障がい者が地域で自立し安心して生活するため、地域の方々の理解と協力を図り、住みやすい福祉のまちづくりを進める“協働の場”となることを目的として、市内障害福祉サービス事業所等の生産品の販売訓練・事業所紹介を、イオンレイクタウンで開催しました。

- ・期 日 令和2年(2020年)9月11日(金)、12日(土)
- ・会 場 イオンレイクタウン mori 花の広場
- ・内 容 市内障害福祉サービス事業所等による生産品の販売訓練及びブースでの事業紹介
- ・参加事業所
 令和2年(2020年)9月11日(金) 18事業所
 令和2年(2020年)9月12日(土) 13事業所
 (延べ 31事業所)

・売上総額 436,325円

イ こころの아트展 (イオンレイクタウン会場)

イオンレイクタウンの協力のもと、障がい者や、障がい福祉に対する理解を図ることを目的として、文化芸術活動に取り組んでいる障がい者が創作した作品展を行いました。

また、多くの方が行き交う中で作品を展示し、豊かな感性に触れていただくとともに、生産品等の販売を行うことで、障がい者の社会参加と就労に向けた支援につながるよう実施しました。

- ・期 日 令和2年(2020年)12月3日(木)から10日(木)まで
- ・会 場 イオンレイクタウン mori 花の広場
- ・参加事業所 14事業所 延べ21事業所
- ・売上総額 155,590円

ウ パネル及びショーウィンドーを用いた障害福祉サービス事業所等の案内 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとふれあいコーナーにおいてパネル及びショーウィンドーを用いて、障害福祉サービス事業所等の紹介をしています。

- ・期 日 通年

- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと ふれあいコーナー
- ・内 容 パネル
障害福祉サービス事業所等の活動内容等の案内や紹介
ショーウインドー
障害福祉サービス事業所等の紹介やPRを行うとともに生産又は
製作した製品（授産品）を展示

⑤ 就労訓練事業

ア 越谷市障害福祉サービス事業所等連絡会議

障がい者の就労訓練の支援を図るため、市内障害福祉サービス事業所等による支援ネットワークの構築及び就労訓練の方策及び就労ニーズの創出等について意見交換及び協議を行うことを目的に開催しております。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、部会、全体会は、中止となりました。

イ 生産品の販売訓練

障がい者の就労能力や社会適応力の向上及び社会参加の促進を目的とした販売訓練の申込み受付、報告業務を行いました。

〈就労訓練施設しらこぼと〉

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
実施回数 (回)	107	63	63	124	65	52.4
延べ実習者数 (人)	399	206	164	516	284	55.0
売上総額 (円)	439,174	263,860	231,200	421,350	204,185	48.5

ウ しらこぼとセミナー

障がい者支援関係者の支援技術向上及び障がい者の生活と就労に役立つことを目的として、講演会を開催しております。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、しらこぼとセミナーは、中止となりました。

エ しらこぼと専門講座

○パソコン講座

障がい者がパソコンなどを活用し、就業や生活に役立つよう講座を実施しました。

一人一人にあったレベルから始めることができ、効率よくスキルが身に付くよう、予約制の個別対応としました。

- ・期 日 令和2年(2020年)5月7日(木)から令和3年(2021年)3月31日(水)まで
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと 相談室
- ・内 容 タイピング、数値入力、文章入力、コピー&ペースト、検索修正、ファイル整理、ワード、エクセル
- ・講 師 当館職員
- ・参加者 延べ58人

○清掃講座

就労を目指す障がい者を対象に、就労に役立つ清掃の方法を学ぶことを目的に実施しております。

なお、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、清掃講座は、中止となりました。

○はたらく準備講座

就労を目指す障がい者を対象に、就職活動に役立つ教室を実施することにより、就労につなげることを目的に実施しました。

- ・期 日 令和2年(2020年)5月7日(木)から令和3年(2021年)3月31日(水)まで
- ・会 場 越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと相談室またはふれあいコーナー
- ・内 容 ビジネスマナー、面接の受け方、お金の使い方、自己理解、求人票の見方、履歴書の書き方、ストレス管理など
- ・講 師 当館職員
- ・参加者 延べ3人

⑥ その他

ア 運動、文化活動を通じ利用者と職員間の交流を図るとともに、余暇活動の楽しさを知ってもらうためクラブ活動を行いました。(体操、ウォーキング、等)

イ 保護者の方への情報提供や家庭での生活の状況確認、保護者と職員との交流、また、家庭での生活を円滑に過ごすため隔月で保護者連絡会を開催いたしました。

ウ 事業所からの連絡事項、活動内容、利用者の様子を保護者の方へ知らせる、「しらこぼと通信」を発行いたしました。(毎月1日)

エ 施設内行事として、次の行事を行いました。

事業名	期 日
お疲れ様会	奇数月の最終金曜日
防災訓練	7月14日・2月4日
交通安全教室	5月下旬 ※
納涼会	8月28日
水害訓練	9月16日
歯科健診	11月12日
防犯訓練	11月13日
クリスマス会	12月24日

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

オ 施設外行事として、次の行事を行う予定でしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

事業名	期 日	場 所	人 数
日帰り実習	1 月頃	—	—
宿泊実習	1 1 月頃	—	—

カ 地域との交流やコミュニケーションを図る場、また、パンやクッキーを販売することで当事業所のPRを行うとともに利用者が販売に参加することで社会性を身につける場として次の事業へ参加の予定でしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の実施が中止となりました。

事業名	期日	場所
ふれあいの日	6 月上旬	中央市民会館
市役所お仕事展	9 月中旬	増林地区センター
市民まつり	1 0 月下旬	市役所周辺
リユースまつり	1 1 月中旬	東埼玉資源環境組合
ボランティアフェスティバル こしがや	1 2 月上旬	中央市民会館
生涯学習フェスティバル	2 月下旬	中央市民会館

(4) 障害者相談支援センター「しらこぼと」

平成26年(2014年)6月から、障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業者として、指定特定相談支援事業を行いました。

- ・生活全般についての相談
- ・障害福祉サービスの利用についての情報提供や助言、アセスメントやモニタリング、サービス等利用計画書の作成等
- ・様々な社会資源を活用するための情報提供や助言
- ・地域で生活するために必要な力を高めるための支援
- ・サービス事業者との連絡調整
- ・権利を守るために必要な援助を行う専門機関の紹介 など

〈サービス等利用計画相談支援内容〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
制度問合せ等	1	13	3	14	7	50.0
アセスメント・面談						
本人・家族	82	190	239	438	330	75.3
関係機関	58	80	229	423	150	35.5
契約手続き	4	16	4	29	11	37.9
モニタリング	118	178	308	623	838	134.5
合 計	268	335	595	1,527	1,336	87.5

※ 相談支援の重複あり

〈サービス等利用計画相談支援対象者内訳〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
身体障がい者	7	3	38	72	92	127.8
知的障がい者	274	480	684	774	896	115.8
精神障がい者	23	90	133	315	391	124.1
発達障がい者	18	5	17	27	25	92.6
難病患者・その他	0	2	5	26	60	230.8
合 計	322	580	877	1,214	1,464	120.6

〈サービス等利用計画相談支援契約者内訳〉

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
身体障がい者	1	1	4	5	6	120.0
知的障がい者	38	44	57	74	76	102.7
精神障がい者	5	6	16	27	25	92.6
難病患者等	0	0	2	3	2	66.7
合 計	44	51	79	109	109	100.0

(5) 越谷市障害者就労支援センター（市受託事業）

平成 27 年(2015年)6月から、市受託事業として、障がい者及びその家族、並びに障がい者を雇用し、または雇用しようとする事業者を対象に、越谷市障害者就労支援事業を実施することにより、障がい者への職業的及び社会的自立の促進に努めました。

なお、本受託事業は、令和 2 年(2020年)9月末日をもって終了となりました。

① 就労に関する相談

就労希望者、就労者及びその家族、又は事業者からの障がい者雇用に関する相談に応じました。

〈登録者数（うち就労者数）〉

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
身体	143(67)	157(78)	163(81)	103.8(103.8)
知的	366(216)	396(238)	409(258)	103.3(108.4)
精神	431(192)	485(203)	518(213)	106.8(104.9)
その他	28(2)	28(2)	13(2)	46.4(100)
合計	968(477)	1,066(521)	1,103(554)	103.5(106.3)

〈新規就労者数〉

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
身体	8	14	6	42.9
知的	41	33	26	78.8
精神	48	30	22	73.3

その他	0	0	0	-
合計	97	77	54	70.1

〈離職者数〉

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
身体	9	3	3	100
知的	24	10	6	60
精神	16	20	12	60
その他	0	0	0	-
合計	49	33	21	63.6

〈相談件数〉

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
身体	200	174	100	57.5
知的	1,042	1,036	564	54.4
精神	692	706	323	45.8
その他	36	42	10	23.8
合計	1,970	1,958	997	50.9

〈事業所等対応〉

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
企業等 事業所	訪問	458	448	145	32.4
	来所	18	12	7	58.3
関係 機関	訪問	65	93	5	5.4
	来所	87	90	21	23.3

② 夜間エンジョイ広場

就労に向けた一体的支援を目的に障害者福祉センターこぼと館との共催で、働く障がい者の方々への余暇活動の提供及び就労に関する相談を行いました。

期 日	内 容	参加者数
4月10日 ※	—	
5月 8日 ※	—	
6月12日 ※	—	
7月10日	DVD鑑賞、年度予定決め	7名
8月21日	DVD鑑賞、テーブルゲーム	8名
9月11日	DVD鑑賞、テーブルゲーム、ジェスチャーゲーム	8名

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

II 公益事業

1 公益事業

(1) ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

ファミリー・サポート・センターは、地域において「子育ての援助を受けたい方」（利用会員）と「子育ての援助を行いたい方」（提供会員）を会員として組織し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、児童福祉の向上を図るとともに地域の子育て支援機能を強化し、全ての親が安心して子育てできる環境づくりに資することを目的としています。

平成12年(2000年)から当会が受託し、保育士等の資格を有するアドバイザーが、調整業務等を行います。

- 利用会員 5市1町内に居住又は勤務をしていて子育ての援助を希望する方
- 提供会員 越谷市に居住しており、子育ての援助活動に熱意のある20歳以上の健康な方
- 援助時間 午前6時から午後10時までの間の希望する時間
- 対象児童 利用会員が登録した0歳から小学校6年生までの児童

① 利用料（利用会員が提供会員に支払う1時間あたりの利用料）

活 動 時 間	平 日	土・日・祝日
午前6時～7時	900円	1,100円
午前7時～午後7時	700円	900円
午後7時～10時	900円	1,100円

② 会員登録状況

（単位：人）

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比（%）
利 用 会 員	男	93	100	104	108	116	107.4
	女	1,460	1,563	1,667	1,777	1,796	101.1
	計	1,553	1,663	1,771	1,885	1,912	101.4
提 供 会 員	男	18	19	21	19	17	89.5
	女	298	327	309	309	273	88.3
	計	316	346	330	328	290	88.4
両会員	男	0	1	1	1	0	—
	女	26	24	20	23	20	87.0
	計	26	25	21	24	20	83.3
合 計	男	111	120	126	128	133	103.9
	女	1,784	1,914	1,996	2,109	2,089	99.1
	計	1,895	2,034	2,122	2,237	2,222	99.3

③ 提供会員の有資格状況

(単位:人)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
1 保健師	0	0	0	0	0	—
2 看護師	5	7	6	6	4	66.7
3 保育士	67	71	65	64	58	90.6
4 幼稚園教諭	64	71	66	66	60	90.9
5 教員	37	41	44	39	34	87.2
6 ヘルパー1級	0	2	0	0	0	—
7 ヘルパー2級	43	46	39	36	29	80.6

④ 会員に対する講習会等の開催

区分	研修名	開催日	内容	受講者数(人)
1	ステップアップ研修	11月24日(火)	「つくってみよう!簡単にできる子供の食事」	5

※ 令和2年度(2020年度)は、提供会員初期研修を年3回、提供会員交流会を年1回及びステップアップ研修の2回目を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の開催を見送りました。

⑤ 活動状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
1 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	504	362	310	639	340	53.2
	431:53	357:07	269:32	713:05	319:39	44.8
2 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,463	1,123	874	1,012	891	88.0
	2,055:09	1,960:20	1,342:00	1,629:16	1,075:08	66.0
3 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	0	0	0	0	0	—
	0	0	0	0	0	—
4 学童の放課後の預かり	47	64	93	146	72	49.3
	144:40	260:07	313:04	336:58	127:16	37.8
5 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	811	433	431	451	283	62.7
	1,324:17	682:24	735:55	771:57	451:50	58.5
6 学童保育からの帰宅後の預かり	0	0	0	0	0	—
	0	0	0	0	0	—
7 子供の病気時の援助	0	0	0	0	0	—
	0	0	0	0	0	—
8 子供の習い事等の場合の援助	958	949	1,522	1,724	1,245	72.2
	664:44	786:38	1,525:37	1,652:47	964:17	58.3
9 保育所・学校等休み時の援助	3	1	10	2	2	100.0
	12:35	5:40	53:42	14:00	12:00	85.7

10	保育所等施設入所 前の援助	1	0	0	0	0	—
		2:00	0	0	0	0	—
11	保護者等の短時間・臨 時的就労の場合の援助	108	60	122	111	131	118.0
		258:05	318:40	729:37	428:30	585:20	136.6
12	保護者等の求職活 動中の援助	1	0	3	0	0	—
		1:45	0	6:00	0	0	—
13	保護者等の冠婚葬祭による外出、 他の子供の学校行事の際の援助	10	5	25	10	0	—
		24:15	14:40	72:45	33:15	0	—
14	保護者等の外出の 場合の援助	120	178	224	188	140	74.5
		419:20	521:01	720:28	651:25	533:03	81.8
15	保護者等の病気や急 用等の場合の援助	78	56	197	52	77	148.1
		436:35	376:46	608:25	410:10	455:35	111.0
16	その他	758	926	475	514	677	131.7
		713:48	896:23	437:02	471:12	662:24	140.6
合 計		4,862	4,157	4,286	4,849	3,858	79.6
		6,489:06	6,179:46	6,814:07	7,112:35	5,186:32	72.9

※ 上段…派遣件数、下段…派遣時間

(2) 市民プール (指定管理事業)

① 管理運営

指定管理者 (平成18年(2006年)4月～) として、「ふれあいと健康づくり」を基本テーマに、子供から高齢者、障がい者が利用できる複合施設としての機能を生かし、市民等のスポーツ振興を図るとともに、各種プール、トレーニングルームを安心して利用できるよう令和元年度(2019年度)からシンコースポーツ株式会社との共同事業体を構成し、万全の体制で施設の管理・運営に努めました。

なお、介護予防やリハビリテーション、健康増進等の観点から、運動による身体機能向上やストレス発散、運動不足解消の場としてQOL (生活の質) の向上を図るため、例年はスポーツ教室を開催しておりましたが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)2月28日(金)から6月15日(月)(トレーニングルームは30日(火))までの期間と12月26日(土)から令和3年(2021年)3月22日(月)までの期間が臨時休館となったほか、破損した排水管修繕のため、令和2年(2020年)9月30日(水)から11月3日(火)までの期間が臨時休館となりました。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年(2020年)6月16日(火)から、1公開につき温水プール40名、令和2年(2020年)7月1日(水)からトレーニングルーム20名までの人数制限を設けました。

② 利用状況

〈プール〉

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年	令和 2 年	対前年度比 (%)	
開館日数 (日)	288	287	274	261	138	52.9	
5市1町	一 般	32,625	30,562	28,368	27,420	5,641	20.6
	障がい	1,488	1,424	1,469	1,035	216	20.9
	60歳以上	52,905	50,333	44,105	41,967	8,734	20.8
	児童生徒	12,569	12,551	11,788	11,507	1,960	17.0
	児童生徒 (障がい)	416	510	533	533	76	14.3
	計	100,003	95,380	86,263	82,462	16,627	20.2
5市1町外	一 般	960	776	809	847	207	24.4
	障がい	138	152	147	137	24	17.5
	60歳以上	1,454	1,280	1,003	1,013	416	41.1
	児童生徒	404	335	432	315	75	23.8
	児童生徒 (障がい)	36	25	28	44	6	13.6
	計	2,992	2,568	2,419	2,356	728	30.9
小 計	102,995	97,948	88,682	84,818	17,355	20.5	

〈トレーニングルーム〉

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年	対前年度比 (%)	
開館日数 (日)	307	308	298	280	131	46.8	
5市1町	一 般	30,002	29,590	26,591	25,180	3,902	15.5
	障がい	747	776	776	875	96	11.0
	60歳以上	26,302	26,583	25,958	25,461	4,639	18.2
	計	57,051	56,949	53,325	51,516	8,637	16.8
5市1町外	一 般	369	191	184	250	51	20.4
	障がい	41	14	32	33	0	—
	60歳以上	296	186	182	258	85	32.9
	計	706	391	398	541	136	25.1
小 計	57,757	57,340	53,723	52,057	8,773	16.9	

〈プール・トレーニングルーム合計利用者数〉

(単位：人)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
合 計	160,752	155,288	142,405	136,875	26,128	19.1

(3) 地域包括支援センター事業 (市受託事業)

平成 18 年 (2006 年) 4 月から、主に越ヶ谷地区を担当地域として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が送れるよう、保健師等・社会福祉士等・主任介護支援専門員の専門職を配置し、介護予防の推進や高齢者の総合相談支援・権利擁護業務等と

して以下の業務を積極的に実施しました。

① 地域におけるネットワークの構築に関すること

高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の様々な社会資源が連携し、援護を要する人の早期発見を目的とした、越谷市地域包括ケアネットワークの構築を図ることに努めました。令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染対策を図りながら、引き続き病院・診療所、歯科医院、薬局などとの連携強化に努めました。

ア 社会資源の情報提供

地域のインフォーマルサービスや、現行のフォーマルサービスを活用し、支援を必要とする地域住民やケアマネジャー等に適切な情報提供を行うため、社会資源の情報提供に努めました。

イ 地域包括支援ネットワークの周知

越谷市地域包括ケアネットワークへの協力依頼を行い、地域包括支援ネットワークの周知に努めました。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
周知回数(件)	430	668	204	375	30	8.0

ウ 健康相談の実施

令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、健康相談の実施は自粛といたしました。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
実施回数(件)	7	12	4	14	0	—
延参加人数(人)	254	310	32	43	0	—

エ 健康講話等の実施

新型コロナウイルスの感染対策を図りながら、越ヶ谷地区の民生委員・児童委員を対象に包括支援センター事業の説明と合わせて実施しました。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
実施回数(件)	2	6	7	11	1	9.1
延参加人数(人)	59	115	224	180	23	12.8

オ 認知症サポーター養成講座の実施

新型コロナウイルス感染症の感染対策を図りながら、中学校や地区センター等で認知症サポーター養成講座を実施しました。

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
実施回数(件)	10	3	5	4	2	50.0
延参加人数(人)	393	392	259	135	46	34.1

カ 担当地区である越ヶ谷地区の自治会長や民生委員・児童委員、福祉推進員などとの連携を強化し、地域包括支援センターの周知や地域課題の把握、高齢者等のニーズ把握を行いました。

キ 地域包括支援ネットワーク会議

越谷市地域包括ケアネットワークの活動に賛同した団体や事業所等との情報・意見交換、自治会内での高齢者の見守り活動体制の強化を図ることなどを目的に新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて開催しました。

また、地域ケア会議の地区レベルの会議として、ケース検討会議と連動させ、開催しました。

	期 日	内 容	参加者数
1	10月26日(月)	○講演『もしもの時のために「人生会議」を』 ～あなたが望む医療やケアについて話し合っておこう～ 講師：越谷市医療と介護の連携窓口 野上めぐみ氏 ○支え合い会議の活動報告 ○地域ケア会議について	49人

ク ケース検討会議

支援が必要な高齢者に対し、多職種協働の下、個人に対する支援の充実を図るとともに、その背景の地域課題を把握し解決することを目的に、地域ケア会議の個別レベルの会議として、開催しました。

<支援困難型>地区ごとに会議を設置

	期 日	内 容	参加者数
1	9月2日(水)	『てんかんによる記憶障害に悩む独居高齢者の支援を考える』	13人

<自立支援型>市内に2つの会議体を設置

市内地域を南北に分けて、各包括支援センターが司会・事例提供・助言の3つの役割分担をし、自立支援ケース検討会議を開催しました。

※ 下表は主催で司会として開催分

	期 日	内 容	参加者数
1	11月24日(火)	提供事例2事例	16人

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から5月26日(火)に主催で司会として開催予定の実施は中止となりました。

② 総合相談支援・権利擁護に関すること

ア 総合相談支援

高齢者やその家族、地域住民などからの様々な相談に保健師等・社会福祉士等・主任介護支援専門員が総合的に対応しました。

(単位:人)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
延電話数	984	1,612	1,954	3,509	4,159	118.5
延来所数	195	245	203	302	249	82.5
延訪問数	702	815	1,052	850	892	104.9

イ 権利擁護

高齢者が安心して暮らせるように、社会福祉士が中心となり、成年後見制度等の紹介や虐待の早期発見・防止に努めました。

(単位:件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
相談回数	18	17	13	24	40	166.7
延訪問回数	11	10	11	3	9	300.0

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務に関すること

高齢者の方々が、心身の状態やその変化に合わせて、途切れることなく必要なサービス提供がされるよう、主任介護支援専門員が中心となり、介護支援専門員の支援や関係機関との調整を図りました。また、市との連絡調整会議を実施しました。

ア 支援業務

介護支援専門員やサービス事業者からの相談に応じました。

(単位:件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)	
延相談件数	介護支援専門員	27	55	25	35	121	345.7
	(内) 同行訪問	56	23	19	46	38	82.6
	サービス事業者	4	8	19	9	27	300.0

イ 市との地区担当打合せ

市との地区担当打合せにおいて、地域住民及び介護支援専門員より相談のあった困難事例の検討を行いました。

なお、令和 2 年度は新たな取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインでの打ち合わせも実施しました。

(単位:件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
開催回数	8	9	8	7	5	71.4
延検討件数	4	19	18	2	1	50.0

④ 介護予防ケアマネジメント事業に関すること

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）対象者の要支援 1・2 の高齢者及び事業対象者に、アセスメント、ケアプラン作成等を実施し、介護予防事業や介護予防サービスの利用につなげ、状態の改善を図りました。

〈新規件数〉

(単位:件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
介護予防事業 (要支援 1・2)	28	30	26	26	24	92.3
総合事業	19	23	27	31	27	87.1

〈継続件数(延べ)〉

(単位:件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比(%)
介護予防事業 (要支援 1・2)	692	599	733	810	815	100.6
(内)委託	353	203	247	271	230	84.9
総合事業	358	503	605	572	515	90.0
(内)委託	188	243	238	164	139	84.8

⑤ 啓発事業の実施

社協だよりやホームページ、地区センターだより等にて、地域包括支援センターの活動内容や認知症予防等について啓発活動を行いました。

(4) 成年後見センター事業

越谷市成年後見事業実施要綱(平成23年(2011年)8月31日告示第281号※10月1日施行)が越谷市で制定されたことに伴い、その一部業務を当協議会が受託し、平成23年(2011年)10月1日に「成年後見センターこしがや」を開設しました。

センターでは、高齢や知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方の権利を守る「成年後見制度」がより身近な制度として活用されるよう成年後見制度の普及・啓発、個別相談への対応、申立手続き支援、後見業務に係る関係機関の情報提供、講演会等を行いました。

市民後見人養成事業については、市民後見人候補者名簿登録者を対象に、定期的に継続研修を実施するとともに、就任支援、活動支援を行いました。さらに、当協議会が市民後見人と共同で後見人等を受任することで、市民後見人の負担軽減を図り、安定的な後見活動ができるよう支援を行いました。

みまもり・あんしん事業については、事業の広報・周知を行うとともに、親族を頼れない等の理由で将来に不安を抱える一人暮らし高齢者や高齢者夫婦のみの世帯を対象に、孤立せず、地域で安心して自立した生活が送れるよう相談に応じました。

① 成年後見制度利用援助事業(市受託事業)

ア 成年後見制度の広報・周知

○チラシの配布

成年後見センターのチラシを市内関係機関、金融機関に配布しました。また、市民後見人の広報のため、市民後見人のチラシを市内関係機関に配付しました。

○社協だよりへの掲載

社協だより各号に成年後見センター事業の紹介等掲載し、成年後見制度及び成年後見センターの広報・周知を行いました。

○講演会の実施

成年後見制度がより身近な制度として、広く市民に活用されるよう、制度の普及・啓発を目的とし、オンラインで講演会を実施しました。また、今後、出前講座等で活用するため、DVDを作成しました。

- ・期 日 令和3年(2021年)2月8日(月)～2月21日(日)
- ・開催方法 オンライン(YouTube配信)
- ・内容、講師
 - ・「漫才で学ぶ成年後見制度」
 - 漫才師 青空 一風千風 氏
 - ・市民後見人インタビュー、成年後見センターの紹介
 - 市民後見人3人
- ・視聴回数 800回(うち、アンケート回答55人)

○事業説明及び出前講座等の実施

関係機関等及び各団体からの依頼に対し、成年後見センター事業及び成年後見制度等について説明を行いました。

	会議等の名称	期日	会場	参加者
1	越谷地区更生保護女性総会	5月18日(月)	中央市民会館劇場	中止※
2	第1回こぼと館連絡調整会議	7月16日(木)	中央市民会館会議室	18人
3	宮崎県社会福祉協議会 地域における権利擁護の構築	11月10日(火)	オンライン	—
4	認知症ケアに携わる多職種協働研修	11月30日(月)	中央市民会館会議室	73人
5	くすのき荘法律講座	12月9日(木)	くすのき荘	15人
6	埼玉県立大学高齢者保健福祉論 ゲストスピーカー	12月9日(木)	オンライン	—
7	成年後見制度講演会出前講座	2月24日(水) 2月25日(木) 2月26日(金) 3月1日(月)	中央市民会館会議室 桜井地区センター 蒲生地区センター 中央市民会館会議室	中止※

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

イ 成年後見制度利用に関する相談・申立手続き支援

電話、窓口、訪問にて成年後見制度に関する相談に対応しました。また、実際に申立を希望される方に対し、申立書の書き方や必要書類等説明を行いました。

〈相談・問合せ件数〉

(単位:件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
相 談 ・ 問 合 せ	高齢者	電話	335	297	544	453	138.2
		来所	127	116	108	127	99.2
		訪問	38	33	60	90	114.4
	障がい者	電話	52	136	160	133	92.5
		来所	18	36	29	31	119.4
		訪問	2	18	19	23	91.3
	その他	電話	60	54	82	39	74.4
		来所	14	6	13	6	200
		訪問	1	2	12	0	—
合 計		647	698	1,027	902	1,077	119.4

〈相談者別内訳〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
本人	72	45	84	91	98	107.7
親族	217	233	233	212	259	122.2
行政（越谷市）	128	126	246	182	205	112.6
地域包括支援センター	31	55	67	100	93	93
相談支援センター	—	—	—	—	9	—
福祉関係者	74	94	170	150	168	112
民生委員	14	14	6	2	1	50
社協	28	15	14	15	10	66.7
金融機関	3	7	5	4	18	450
医療機関	30	44	67	62	91	146.8
知人・近隣住民	4	5	3	5	14	280
専門職	22	44	109	41	96	234.1
行政（他市）	3	2	7	9	3	33.3
匿名	8	4	3	7	4	57.1
その他	13	10	13	22	8	36.4
合 計	647	698	1,027	902	1,077	119.4

〈相談内容別内訳〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
成年後見制度について	260	326	373	365	451	123.6
申立手続きについて	271	350	558	440	462	105
金銭・財産管理について	29	48	49	54	68	125.9
将来に対する不安	39	34	88	104	73	70.2
後見人等業務について	63	33	67	60	53	88.3
センターについて	40	47	52	33	15	45.5
他機関の紹介	19	10	4	3	17	566.7
任意後見	—	—	—	—	25	—
その他	79	32	12	13	58	446.2
合 計	800	880	1,203	1,072	1,222	114

※ 1回の相談で複数の相談を受ける場合あり。

ウ 会議の開催

成年後見制度の利用に関する相談の中で、成年後見制度の必要性や申立人、候補者について審議が必要なケースについて、ケース会議、ケース検討会議、ケース方針調整会議に諮り、成年後見制度に係る方針の検討を行いました。

〈ケース会議の開催〉

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催回数		33 回	37 回	60 回	87 回	63 回
検討件数	高 齢	24 件	50 件	26 件	56 件	44 件
	障がい	9 件	17 件	11 件	31 件	19 件

〈ケース検討会議〉

(単位：件)

	期 日	協 議		報 告	
		高 齢	障がい	高 齢	障がい
1	4 月 38 日(水)	4	0	0	0
2	5 月 38 日(金)	7	2	1	1
3	6 月 24 日(水)	5	0	3	0
4	7 月 29 日(水)	1	1	3	0
5	8 月 21 日(金)	1	0	0	0
6	10 月 38 日(木)	2	0	3	1
7	11 月 20 日(金)	0	0	2	1
8	12 月 21 日(月)	0	0	3	0
9	1 月 22 日(金)	1	0	1	0
10	2 月 19 日(金)	1	0	1	0
11	3 月 23 日(火)	4	0	0	0
合 計		26	3	17	3

〈ケース方針調整会議〉

(単位：件)

	期 日	内 容		区 分	
		協 議	報 告	高 齢	障がい
1	5 月 25 日 (月) ※	9	2	8	3
2	8 月 28 日 (金)	5	1	5	1
3	11 月 25 日 (水)	1	2	3	0
4	2 月 10 日 (水)	1	0	1	0

※ 5月の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、専門職の各委員からは個別に意見を聴取し、5月25日(月)に行政の委員と意見の取りまとめを行いました。

〈ケース方針調整会議後の状況について〉

(単位：件)

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
高 齢	協 議	11	5	9	2	13
	報 告	6	4	13	4	4
障がい	協 議	5	9	6	1	3
	報 告	0	4	5	4	1
合 計		22	22	33	11	21
申立てに	高 齢	16	9	22	6	14

至った件数 (令和2年3月末)	障がい	5	13	11	5	4
--------------------	-----	---	----	----	---	---

エ 成年後見業務に係る関係機関の情報提供及び連携

成年後見に係る関係機関へ直接出向き、情報収集及びセンターの事業内容の説明等を行いました。また、相談窓口で専門職等の情報を希望される方に情報提供を行いました。

○パンフレット配布及び情報収集先

- ・公益社団法人 成年後見センター リーガルサポート 埼玉支部
- ・公益社団法人 埼玉県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ埼玉
- ・埼玉弁護士会 越谷支部
- ・関東信越税理士会 越谷支部
- ・一般社団法人 コスモス成年後見サポートセンター 埼玉県支部
- ・一般社団法人 社労士成年後見センター 埼玉
- ・一般財団法人 民事法務協会
- ・NPO法人 越谷成年後見支援センター
- ・NPO法人 成年後見センター埼玉東部
- ・NPO法人 R J対話の会

② 後見人等業務

ア 市民後見人養成事業（市受託事業）

○市民後見人候補者名簿の記載事項変更及び管理

〈市民後見人候補者名簿登録状況〉

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
新規登録	11	1	7	1	0
抹 消	3	2	0	1	1
登録者	28	27	34	34	33

〈市民後見人受任状況〉

(単位：人)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
高 齢	受任	2	1	1	2	2
	終了	1	1	0	0	1
障がい	受任	3	2	1	4	1
	終了	1	0	0	1	1

受任 件数	高齢	3	3	4	6	7
	障がい	5	7	8	11	11
合計		8	10	12	17	18
累計		10	13	15	21	24

○継続研修の実施

市民後見人候補者名簿登録者を対象に市民後見人として就任及び活動するための更なる知識等の習得のため、年4回継続研修を実施しました。

期 日	内 容	講 師	参加者数
5月～ 7月31日(金)	被後見人と接する上で大切にしたいこと	レポート作成 『被後見人と接する上で大切にしたいこと』	33人
9月3日(木)	ライフステージ毎のお金に関する知識	ファイナンシャル・プランナー 黒田 尚子氏	19人
12月2日(水)	当事者の立場に立って考える ～本人の意思の尊重とは～	日本高齢者アタッチメント協会 林 炎子氏	21人
3月1日(月) ～31日(水)	ライフステージ毎のサービスに関する知識 オンライン (YouTube 限定配信)	障害福祉課 地域包括ケア推進課	29人 アンケート の回答人数

○市民後見人選定会議

ケース方針調整会議にて、市民後見人の受任が適当と判断された案件について、市民後見人候補者名簿の中から後見人等候補者を選定する会議を行いました。

- ・開催回数 3回
- ・検討案件 3件（高齢2件、障がい1件）

○受任調整

市民後見人候補者が後見人等に受任できるよう、相談に応じ、必要な手続き等の支援を行いました。

〈受任前相談〉

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
電 話	13	15	11	7	13	185.7
来 所	10	4	12	10	19	190
訪 問	3	2	3	10	4	40
計	26	21	26	27	36	133.3

○市民後見人活動マニュアルの見直し及び配付

市民後見人がスムーズに後見活動を行うことができるよう、マニュアルを配付し、後見活動を行うに当たっての留意事項について説明を行いました。

○市民後見人の活動状況の把握及び相談

市民後見人に対し、後見活動が適正に行われるよう活動状況の把握を行うとともに、市民後見人からの相談に応じました。

〈相談件数〉

(単位：件)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比 (%)
電 話	65	78	83	156	133	85.3
来 所	92	131	117	150	76	50.7
訪 問	5	10	5	7	6	85.7
合 計	162	219	205	313	215	68.7

○市民後見人の研修

市民後見人として活動している方を対象に、後見人としての知識及び資質の向上を図ることを目的に研修会を実施しました。

- ・期 日 令和2年(2020年)12月15日(火)
- ・会 場 中央市民会館 1階 こぼと館
- ・内 容 傾聴～被後見人との関係づくりを目指して～
- ・講 師 アクティブリッスン代表 澤村 直樹氏
- ・参加者 9人

イ 法人後見事業の実施

成年後見制度の利用に関する相談の中で、他に適当な候補者がいない場合は、当協議会が法人として後見人等を受任し、身上監護、財産管理等の支援を行いました。

また、市民後見人と共同で後見人等を受任し、市民後見人の負担軽減を図り、安定的な後見活動ができるよう支援を行いました。

〈法人後見受任状況〉

(単位:件)

	区分	類型	申立人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規受任件数	高齢	後見	市長	2(2)	0	1(1)	4(1)	2(2)
			本人親族等	0	0	0	2(1)	1
		保佐	市長	0	1(1)	0	0	0
			本人親族等	0	0	0	0	0
		補助	市長	0	0	0	0	0
			本人親族等	0	0	0	0	0
	障がい	後見	市長	2(2)	2(2)	4(1)	2(2)	0
			本人親族等	0	0	0	0	0
		保佐	市長	1(1)	1	1	1(1)	1(1)
			本人親族等	0	0	0	0	0
		補助	市長	0	0	0	0	0
			本人親族等	0	0	0	0	0
合 計				5(5)	4(3)	6(2)	9(5)	4(3)

終了 件数	高齢	2(1)	1(1)	3	3(1)	3(1)
	障がい	2(1)	0	0	0	2(1)
合 計		4(2)	1(1)	3	3(1)	5(2)

年度末 受任 件数	高齢	後見	7(4)	6(3)	5(4)	8(5)	9(6)
		保佐	3	4(1)	3(1)	3(1)	2(1)
		補助	0	0	0	0	0

	障 が い	後見	10(4)	12(6)	16(7)	18(9)	16(8)
		保佐	2(1)	3(1)	4(1)	5(2)	6(3)
		補助	0	0	0	0	0
合 計			22(9)	25(11)	28(13)	34(17)	33(18)

※ () …内、複数後見等の受任

※ 令和2年度(2020年度)複数後見等の内訳：市民後見人との複数後見 18件
親族との複数後見 0件

〈居所の内訳〉

(単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
在 宅	12(6)	11(4)	14(5)	20(9)	20(12)
施 設	8(2)	11(5)	10(6)	12(8)	11(6)
長期入院	2(1)	3(2)	4(2)	2	2
合 計	22(9)	25(11)	28(13)	34(17)	33(18)

※ () …内、複数後見等の受任

〈終了の内訳〉

(単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
死 亡	4(2)	1(1)	3	3(1)	5(2)
他の後見 人に引継 ぎ	0	0	0	0	0

※ () …内、複数後見等の受任

③ みまもり・あんしん事業

親族を頼れない等の理由で将来に不安を抱える一人暮らし高齢者の方等が、孤立せず、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援することを目的に、平成28年(2016年)7月から事業を開始し、事業の広報・周知を行うとともに将来に不安を抱える方の相談に応じました。

ア 事業実施状況

〈相談件数〉

(単位：件)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
単 身	初回	38	24	36	22	21	95.5
	継続	44	23	56	115	65	56.5
夫 婦	初回	1	7	5	4	2	50
	継続	4	0	0	7	1	14.3
その他	初回	8	5	19	10	6	50
	継続	7	8	7	4	11	275
問合せ		2	0	2	8	0	—

合 計	104	67	125	170	106	62.4
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

〈相談方法〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
電 話	57	45	84	104	72	69.2
来 所	18	9	21	22	9	40.9
訪 問	29	13	20	44	25	56.8
合 計	104	67	125	170	106	62.4

〈相談内容〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	対前年度比 (%)
見守りについて	5	6	2	18	10	55.6
日常生活支援につ いて	3	4	3	3	1	33.3
臨時の支援につ いて	27	3	2	14	1	7.1
公正証書遺言につ いて	10	1	0	8	4	50
入院保証について	54	19	17	69	43	62.3
施設入所保証につ いて	15	6	1	13	9	69.2
死後事務手続きに ついて	15	6	15	56	52	92.9
書類等預かりにつ いて	5	1	21	4	0	—
事業内容について	23	27	80	49	25	51
その他	2	5	2	7	1	14.3
合 計	159	78	143	241	146	60.6

※ 1回の相談で複数の相談を受ける場合あり。

〈契約状況〉

(単位：件)

区 分		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
単 身	新規契約	0	5	1	5	1
	解約	0	0	0	3	0
夫 婦	新規契約	0	0	0	1	1
	解約	0	0	0	0	0
その他	新規契約	0	0	0	0	0
	解約	0	0	0	0	0

〈年度末契約件数〉

(単位：件)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
単 身	0	5	6	8	9
夫 婦	0	0	0	1	2
その他	0	0	0	0	0
合 計	0	5	6	9	11

イ あんしんノート配付

○配付件数 3,852 部

○アンケート回収 2,758 人

〈年齢層〉

(単位：人)

10~20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	不明
6	17	67	164	669	1,301	481	35	18

〈性別〉

(単位：人)

女性	男性	不明
1,889	839	30

〈あんしんノートを必要とする理由〉

(単位：人)

自分の気持ちの整理	周りの人に気持ちを残す	財産の整理をするため	将来を考える為	ノートに興味があった	家族に渡したい
1,467	1,197	768	847	795	987

※ 複数回答あり。

④ その他

ア 成年後見センターの運営に関すること

○第 1 回運営委員会

- ・期 日 令和 2 年(2020年) 7 月 2 9 日 (水)
- ・会 場 中央市民会館 5 階第 7 会議室
- ・内 容 令和元年度成年後見センター事業報告について
令和 2 年度成年後見センター事業計画について

○第 2 回運営委員会

- ・期 日 令和 2 年(2020年) 1 1 月 6 日 (金)
- ・会 場 中央市民会館 5 階第 7 会議室
- ・内 容 令和 2 年度 (上期) 成年後見センター事業報告について
令和 3 年度成年後見センター事業計画 (案) について

イ 職員研修

成年後見センター担当職員の知識向上を図るため、成年後見制度に関する研修会に参加しました。

研修名	期 日	会 場	内 容
成年後見制度利用促進体制整備研修(基礎)	① 10月19日(月)、 20日(火) ② 10月29日(木)、 30日(金)	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用促進法と基礎計画 ・権利擁護支援の理解 ・家庭裁判所について ・成年後見制度の基礎 ・関連諸制度について ・中核機関の役割Ⅰ ・意思決定支援を踏まえた後見活動の実際 ・権利擁護支援の広報 ・中核機関の役割Ⅱ
法人後見実施社協等連絡会議	9月30日(水)	彩の国すこやかプラザ	成年後見制度利用促進の取組の動向 被後見人の死後事務について
成年後見制度利用促進体制整備研修(応用)	① 12月16日(水) ～18日(金) ② 2月3日(水) ～5日(金)	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援の考え方と実践 ・任意後見等の理解 ・中核機関の役割Ⅲ ・中核機関の役割Ⅳ
後見人等への意思決定支援研修	① 2月4日(木) ② 2月22日(月) ③ 3月5日(金)	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援と代行決定 ・後見事務における「意思決定支援」 ・意思決定支援をふまえた後見事務のガイドライン

ウ 視察等の受け入れ

他市からの視察等の依頼に対応し、事業説明を行いました。

期 日	依 頼 元	内 容	視察者
7月	全国社会福祉協議会	NORMA 7月号 特集記事掲載	—
10月26日(月)	岐阜県関市社会福祉協議会	みまもり・あんしん事業について 他	3人

エ 方針検討委員会

ケース方針調整会議で、当協議会が後見人等の業務を行うことが適切であるとの意見があった案件についての後見人等の受任、みまもり・あんしん事業の契約締結や変更に関する事、成年後見センター業務に係る重要事項に関する事について審議を行いました。

○会議開催回数 12回

オ 会議等の出席

期 日	内 容
8月26日(水) 12月4日(金) 1月27日(水) 3月10日(水)	身元保証等に関する検討会

○行政との定例会議の開催

期 日	内 容
4月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見センターこしがや事業計画(案)について ・専門職団体意見交換会について ・市民後見人養成事業について
4月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成事業について ・中核機関実施計画・スケジュール確認
5月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成事業について ・中核機関実施計画について
7月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職団体意見交換会について
8月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職団体意見交換会
9月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職団体意見交換会振り返り
10月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・中核機関について ・講演会について ・第4期市民後見人養成研修カリキュラムについて
11月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期市民後見人養成研修カリキュラムについて
1月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期市民後見人養成研修カリキュラムについて
2月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期市民後見人養成研修カリキュラムについて ・講演会アンケート結果について
3月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度講演会について ・第4期市民後見人養成研修について
3月29日(月) ※	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職団体意見交換会

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止

カ 権利擁護に関するアンケート調査

平成28年(2016年)5月に施行された「成年後見制度の利用の促進に関する法律」において、市町村は成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるとともに、中核となる機関の設置等必要な措置を講ずるよう努めることとされました。

これに伴い、成年後見センターにおいて、現在、どのような課題があり、今後、どのような機能が求められているかを把握するため、関係機関を対象にアンケート調査を実施しました。

○調査期間

令和2年(2020年)7月31日(金)～8月21日(金)

○調査対象

【事業所】

- ・高齢者関係
 - 市内地域包括支援センター（11か所）
 - 市内居宅介護支援事業所（63か所）
- ・障がい者関係
 - 市内相談支援事業所（16か所）
 - 市内精神科医療機関（3か所）※診療所、クリニックを除く

【団体】

- ・後見人等候補者団体（12か所）

Ⅲ 収益事業

1 収益事業

(1) 売店事業

平成16年度(2004年度)から市役所本庁舎地下1階にある売店を営業し、市役所を訪れる方々の利便性を図るために、収入印紙や切手、食品、文具などを販売しました。

また、こしがやブランド認定品の販売やだるま、桐箱等の委託販売を行い、地場産業の振興に寄与したほか、「越谷市役所プラスチック・スマート宣言」に伴い、ボトル缶型の会議用飲料の販売を強化しました。

収益を社会福祉事業に還元するために、運営は効率的に行い、各業務の執行方法は、業務内容を十分検討し、合理性、経済性等を総合的に判断し決定しています。

〈売上額〉(委託販売品を除く)

(単位：円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
商品売上	12,348,301	11,214,648	9,486,655	9,077,896	6,750,109	74.4
切手・印紙売上	9,578,557	8,041,502	10,703,645	10,362,377	10,192,203	98.4
合計	21,926,858	19,256,150	20,190,300	19,440,273	16,942,312	87.2

(2) 自動販売機設置事業

市役所や老人福祉センター等の公共施設に障がいのある方などが利用しやすいバリアフリータイプの自動販売機を設置し、その手数料収入を社会福祉事業に還元しました。

〈設置台数及び販売手数料〉

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度比(%)
設置台数(台)	36	36	36	36	36	100.0
販売手数料(円)	10,094,126	9,053,788	8,582,184	8,179,037	6,621,141	81.0